

令和7年度 研究報告書

特別支援学校高等部における自己と他者を守るための  
包括的セクシュアリティ教育の実践と課題

令和6年度入学

熊本大学大学院 教育学研究科

教職実践開発専攻 特別支援教育実践高度化コース

240 - A9734 江頭 優里

【指導教官名】

本吉大介 准教授

菊池哲平 教授

## 目次

研究報告書要旨	1
I 問題・目的	2
1. 知的障害者の性をめぐる社会的背景	
2. セクシュアリティ教育について	
3. 特別支援学級における性教育の現状	
4. 本研究の目的	
II 実践の概要	7
1. 事前調査	
2. 対象生徒の実態	
3. 実践の内容と期間	
III 実践の結果	13
1. 実践(1)「からだのこと」	
①内容	
②小テスト・振り返り	
2. 実践(2)「こころのこと」	
①内容	
②小テスト・振り返り	
3. 実践(3)「おとなになること」	
①内容	
②小テスト・振り返り	
4. 実践(4)「いやなことをされたときのこと」	
①内容	
②小テスト・振り返り	
5. 実践(5)「みんなちがってもいいこと」	
①内容	
②小テスト・振り返り	
6. 事後テスト	

**IV 考察** . . . . . 24

1. 実践(1)に関する考察
2. 実践(2)に関する考察
3. 実践(3)に関する考察
4. 実践(4)に関する考察
5. 実践(5)に関する考察
6. 本実践全体の考察

**V まとめと今後の課題** . . . . . 31

**VI 引用文献** . . . . . 33

**謝辞**

**巻末資料**

## 研究報告書要旨

本研究は、知的障害のある特別支援学校高等部生徒を対象に包括的セクシュアリティ教育の実践を行い、その成果と課題を明らかにすることを目的とした。近年、知的障害者を取り巻く性的問題は性被害のリスクや人間関係上の困難さといった観点から社会的関心が高まっており、学校教育においても、発達段階や実態に応じた系統的かつ継続的な性教育の必要性が指摘されている。しかし、特別支援学校においては、時間的・人的リソースの制約から、十分な実践が行われていないのが現状である。

上記を問題視し、筆者は特別支援学校高等部3年生8名を対象に、「からだのこと」「こころのこと」「おとなになること」「いやなことをされたときのこと」「みんながとってもいいこと」の5つのテーマを設定し授業実践を行った。実践に先立ち、生徒および保護者へのアンケート調査を実施し、学習ニーズを把握した上で授業内容を構成した。評価方法としては、事前・事後テストによる量的評価に加え、振り返りシートの記述内容を分析する質的評価を併用した。

その結果、事前テストの平均正答率 69.75%に対し、事後テストでは 82.33%へと上昇し、理解の向上が確認された。特に、知識学習を基盤としつつ具体的な事例提示や内省の時間を確保した実践において、知識の定着が見られた。一方、ロールプレイや調べ学習を中心とした実践では、生徒の印象や感情に強く残る反面、知識の定着が十分でない場面も見られ、指導内容の構造化の重要性が示唆された。また、振り返りシートからは、「相談してよい」「自分の気持ちを考える」といった認識の変化が確認され、テスト結果だけでは捉えきれない内面的な学習成果も認められた。

一方で、本研究にはいくつかの課題も残された。第一に、評価方法の課題である。テストによる量的評価は知識の定着を把握する上で有効である一方、生徒の価値観や態度、意識の変容を十分に捉えることは難しいこと。第二に、指導方法および教材選定に関して性に関する表現やイラストが生徒に心理的負担を与える場合があることや、合理的配慮として導入した支援が、必ずしも主体的な学びにつながらなかった場面が見られたこと。第三に、実践の継続性に関して本実践は一定期間に限定されたものであり、長期的な変化や学習内容の定着について十分に検証することができなかったこと。第四に、欠席者へのフォローアップに関して、欠席者に対して教材の配布は行ったものの、個別での補足説明や学習機会の保障が十分ではなく、欠席した実践内容に関して正答率が低下する傾向が見られたことである。

以上より、本研究は、限られた教育的リソースの中においても、知的障害のある生徒に対する包括的セクシュアリティ教育が、知識面と意識面の双方に働きかける可能性を持つことを示すことができたものの、今後は質的評価を含めた多面的な評価方法の構築と、カリキュラム全体に位置づけた継続的な実践の在り方について検討を進める必要がある。

## I 問題と目的

### 1. 知的障害者の性をめぐる社会的背景

近年,知的障害者への性加害事件は増加している。場面緘黙や,知的障害のある人物であれば性加害の立証が難しいと知っているが故にターゲットを絞りこむ卑劣な加害者も少なくない。それだけでなく障害者自身が「性」について知識が少ないゆえにそれを「性加害」とであると認識できず発見が遅れるケースもある。

先行研究として Brown-Lavoie ら (2014) では ASD の成人男女では,健常女性や男性に比べて 2~3 倍,性暴力が多く発生していることが報告されており,さらに日本では岩田・中野(2019)はそうした実情を調査するためにアンケートやインタビューを実施した結果,性暴力被害に一度でもあった事があると回答したのは全体のなんと 71.9%であった。もちろん当該論文でも指摘されているようにこの調査対象は発達障害者の母数を表すものではないため「発達障害者は健常者よりも性加害を受けやすい」という結論を出すのは性急だが指摘するには十分の事実である。それだけでなく知的障害者及び発達障害者の性的問題行動の発生,つまりは性加害者側になる事例は,長浜 (2003) で報告されているように多く存在している。特別支援学校での性に関する指導については現状検討が必要であると考え。

岩田・中野(2019)では,考察として性被害に合う理由の一つに「自己肯定感の低さ」があると述べている。加えて小出ら(2021)は国立教育政策研究所の「生徒指導リーフ」を引用し『自己肯定感は,自尊感情 (Self-Esteem), 自己存在感, 自己効力感などの言葉とほぼ同じ意味合いであり, 自分への肯定的な評価を抱いている状態と認識していること,また自己肯定感は, 周囲の人間との相互作用を通して, 自分がどのように扱われているか, 周りは自分をどう見ているのかが重要であることや, 親しい人間関係にある周りの人たちから認められたり, ほめられたりする経験を通して形成されること』を引き合いに出し, 教師や友人から認められることで自分自身を大切に, 自分に自信を持つことができる可能性があることを示唆している。したがって自己肯定感を高めることは「自分を守る」意識に繋がり,おのずと性被害にあわない価値観を児童生徒の中に醸成できると筆者は考えた。

これを踏まえ,被害者にも加害者にもならないために性知識の習得に注視するだけでなく児童生徒の自己肯定感を高めること等も加味した「セクシュアリティ教育」の実施が急務であると呈する。

本論文では先行研究に倣い,包括的性教育ではなくセクシュアリティ教育と表記する。性(sex)だけの教育に限らず,人の性の在り方全般を指す広義の sexuality の概念が本研究において筆者の想定する指針と合致しているためである。

## 2. セクシュアリティ教育(包括的性教育)と他国の教育事例について

一般に包括的性教育と呼ばれているセクシュアリティ教育とは、2009年にユネスコ(UNESCO=国際連合教育科学文化機構)などの国際機関が開発した「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」、また2019年に改訂されたものが日本翻訳版として出版された際に広まった言葉である。このガイダンスでは8つのキーコンセプトが設定されており上から順に①人間関係、②価値観・文化・人権・セクシュアリティ、③ジェンダーの理解、④暴力・安全の確保、⑤健康とウェルビーイングのためのスキル、⑥人間の体と発達、⑦セクシュアリティと性的行動、⑧性と生殖に関する健康となっている。これらのキーコンセプトは、それぞれまたトピックに分かれ全27項目存在する。上記のように包括的性教育はいわゆる性に関する指導だけでなく、人権など性に関する多岐にわたる要素を内包しているものである。加えてガイダンスでは4つの年齢グループに分かれ段階的に学べるようになっている。UNESCOやWHOの上記のような国際指針でも、包括的セクシュアリティ教育は関係性や同意、暴力防止を柱とする内容であると示されており、現在障害者を含むすべての若者への教育の提供が求められているのである。

本研究では、この内容に合致し、加えて児嶋・細渕(2011)で示されたものからさらに修正した門下(2022)で定義された27項目の学習内容項目を軸に研究計画を立てる。この学習内容項目を授業づくりに生かすアイデアは儀間(2024)を更に参照している。儀間(2024)は学校教育において学習指導要領に基づいて表1の項目を含む8つのキーコンセプトの内容を指導することを「包括的性教育」と捉えており、今回筆者もそれに倣う。

表1 門下(2022)で定義された学習内容項目

身体に関すること	①生まれたときのこと ②身体のこと (名称,清潔,プライベートゾーン) ③健康の維持
第二性徴に関すること	④男子の体のしくみ ⑤女子の体のしくみ ⑥第二性徴 ⑦初潮・月経 ⑧精通・夢精 ⑨マスターベーション
人間関係に関すること	⑩友情・愛情 ⑪男女交際 ⑫男女間のマナー ⑬家族・家族の役割
性交・妊娠・出産に関すること	⑰性交 ⑱避妊・家族計画 ⑲妊娠・出産 ⑳中絶 ㉑性感染症
性被害・性加害に関すること	㉒性被害にあわない ㉓性の問題の加害者にならない

	②4 インターネットや SNS のトラブル
性の多様性に関すること	②5 性の多様性                      ②6 ジェンダー
その他	②7 その他

よく「日本は先進国の中でも性教育の実施状況が悪い」と言われるがその所以は「歯止め規定」の存在が大きいのと考える。

そもそも日本では 1992 年になってようやく性教育が学習指導要領に組み込まれるなど実施が遅いだけでなく、2003 年の都立七生養護学校の性教育に政治的バッシングが起こったこと、いわゆる七生養護学校事件で学習指導要領において性行為や妊娠について取り扱わない「歯止め規定」が出来てしまった。このことは日本の性教育の推進に大きな影を落としたと言えよう。

これに対してスウェーデン・ドイツ等欧米諸国では包括的セクシュアリティ教育に注力しており法整備が続々と進められている。特にドイツではそもそも「性教育」について熱心な国であるといえる。1968 年の常設文部大臣会議（KMK）「学校における性教育に対する勧告」で性教育が課題として認められたのちに大きく前進、州ごとに学校法で定められ義務教育として作用している。加えて通常学級に限らず特別支援学校等障害がある児童に対しても同様であり、そうして 2000 年代以降の現在では「性教育」のみに限らずさらに性に対し深く解釈を掘り進めた「性的自己形成」という概念が提起されて新たなフェーズを迎えている。

ちなみにこの「性的自己形成」については日本でも佐々木(2006)などの研究で紹介されている。佐々木(2006)において「性的自己形成」とは、人が成長の過程で「自分をどのような性の存在として理解し、位置づけていくか」という自己理解が形成されていくプロセスを指しており、その特徴として、性的自己形成は生物学的要因（遺伝・ホルモン）だけで決定されるものではないこと、同時に家庭・学校・社会・文化といった環境要因の影響を強く受けること、したがって、性的自己形成は「生得的要因か／環境要因か」という二項対立ではなく、両者が相互に作用する中で形成される動的な過程であると整理している。性的自己形成は個人内部の問題ではなく、社会的・教育的文脈の中で理解されるべきものとして位置づけられているのである。「性的自己形成」はその名の通り自分を位置づけることではあるが、それは個人の問題ではなく社会の中で理解されるという点で自己肯定感の向上にも寄与するとされている。日本においてはこの言葉自体知っている人が少ないだろう。このことから、いかにドイツが日本と比較して進んでいるかがわかるのではないだろうか。日本は欧米諸国と同じスタートラインに立てていないというのが筆者の正直な印象である。

### 3. 特別支援学級における性教育の現状

特別支援学校における包括的性教育の実施に関する先行研究は、小畑ら(2024)が挙げられる。小畑ら(2021,2022)の継続研究として提示された当該研究は、インタビューを用いたものであった。これによれば研究対象である A 校の卒業生はセクシュアリティ教育を受ける機会が少なく情報の入手が困難であったこと、インターネット上の氾濫する情報を精査できず誤情報を得ていたことが分かった。また門下(2019)の研究では特別支援学校教員による性教育実施率が約4割ほどである要因は教員の「知識不足」「研修機会の少なさ」と指摘している。また、戸越(2021)は熊本県特別支援学校における性に関する指導実践の実態について教員を対象として調査しており、結果「学習機会の確保の困難さ」、「生徒それぞれの実態差が大きい」ことなど難しさが浮き彫りになったと報告している。実際に今回の実践対象生徒の所属している P 特別支援学校では、保健体育の中でも性に関する指導は年に2～3回程度しか実施されておらず、現行教育において生徒の学ぶ機会は非常に少ないといえる。

加えて、特別支援教育において性教育を行うにあたって、その内容について小畑ら(2024)は、知的障害者が性に関して何を学びたいと思っているのかの「ニーズ」の調査が進んでいないことを指摘している。性教育で生徒自身がどのように感じているのか、何を学んだのかしっかり理解し把握できるよう「ニーズ」を明らかにすることが重要であるとした。

以上より現状、そもそも性教育を実施する機会が足りておらず、行われたとしても教員の知識不足やニーズの不透明さなどから内容に問題があると指摘できる。時間的・人的リソースの不足は火を見るより明らかである。

### 4. 研究の目的

以上を踏まえ、本研究では特別支援学校高等部における自己と他者を守るための包括的セクシュアリティ教育を実践しその結果を考察し課題を模索していく。

実践内容は次項で子細に記すが、「歯止め規定」について樋上ら(2022)を参考にすれば七生養護学校事件における政治的介入から「学習指導要領は最低基準であり、児童生徒の実態に合わせて必要と判断したならば学習指導要領および歯止め規定と超える範囲を教えてもいい」という解釈を得ることが出来るため、今回は保護者の同意を取ったうえでかつ、ニーズ調査において歯止め規定を超える内容を希望された場合、指導は不適切ではないと位置付けた。

高等部では三年生を対象にしており、この理由は小学部・中学部である程度の基礎的な内容は微々たるものとしても学んでいることからやや踏み込んだ内容に対しての理解度が高いこと、加えて卒業後就職などで社会にでる生徒たちにとって性に関する知識を身に付けることは急務と考えたからである。実施した包括的セクシュアリティ教育が生徒にどのような影響があるのか、時間と人材の切迫している現行教育の中でどのよ

うに方策を取っていくかを検討していく。

## II 実践の概要

### 1. 事前調査

本研究テーマは非常にセンシティブなものであることから巻末資料1に示す研究概要の説明のための「研究協力依頼書」,および巻末資料2に示す「同意書」によりあらかじめ家庭へ研究についての理解を得てから実施している。

加えて先述の通り,生徒自身のニーズおよび保護者のニーズ調査のため巻末資料3「包括的セクシュアリティ教育に関する保護者アンケート」と巻末資料4「心と体のアンケート」により家庭の学校にて学んでほしい分野と生徒の学んでみたい分野の折衷範囲を分析した。なおこのアンケートは門下(2022)でセクシュアリティ教育を参考に定義された27項目の学習内容項目を基に保護者用,生徒用を作成した。アンケートについては知的障害の程度によって内容を分けていない。

結果として,保護者アンケートでは,「お子様に特に学んでほしいトピックを以下から選んでください(複数回答可)」という質問に対し,「生まれてきたときのこと」には12.5%,「身体のこと(プライベートゾーン等)」には87.5%,「健康の維持」には75%,「男女の体の仕組み」には37.5%,「第二次性徴」には0%,「初経・月経」には12.5%,「精通・夢精」には12.5%,「マスターベーション」には50%,「友情・愛情」には62.5%,「男女交際」には62.5%,「男女間のマナー」には75%,「家族・家族の役割」には37.5%,「結婚・男女の協力」には37.5%,「デートDV」には37.5%,「性的同意」には50%,「性交」には37.5%,「避妊・家族計画」には37.5%,「妊娠・出産」には12.5%,「中絶」には12.5%,「性感染症」には37.5%,「性被害にあわない」には50%,「性の問題の加害者にならない」には62.5%,「インターネットのSNSのトラブル」には50%の回答が得られた。

また,「その他このテーマに関連してご家庭で気になっていること,困りごとありましたらご回答ください(自由回答)」という質問に対し,以下の二件の回答があった。

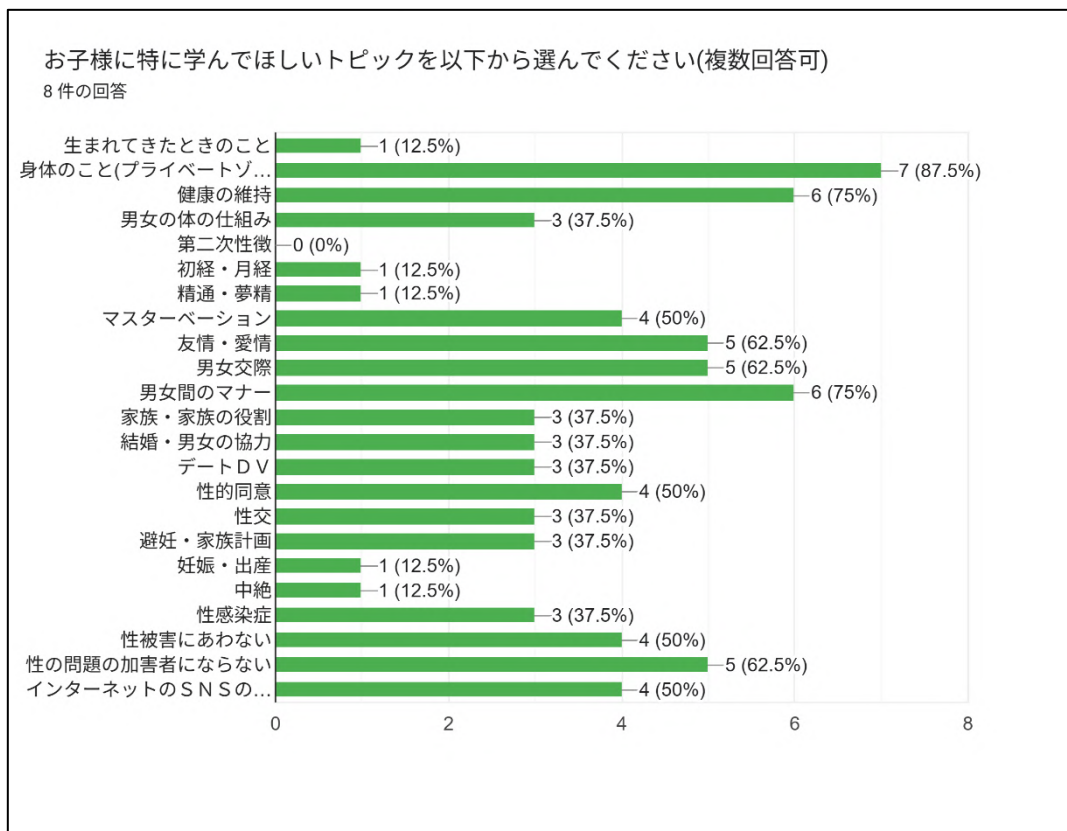
- 2年後に成人となる障害を持った我が子が将来もし,好きな人ができ結婚したい,赤ちゃんがほしい,産みたいと言った時,親としてどうしたら良いのか,正直わかりません。  
前向きな考えより,後向きの考え,思いが多すぎて不安になる事があります。
- 理解力,イメージする力,記憶や意識する力,相談する力など,全般的に弱いこどもに,どのような家庭指導をするか,使い続けられる媒体(本や映像など)はないかなど,いろいろ考えることがあります。

生徒用アンケートでは,「この中で学習したいことについて○をつけてください」という質問に「からだのこと」には75%,「おとなになること」には62.5%,「こころ

のこと」には 87.5%,「赤ちゃんが生まれること」には 25%,「いやなことをされたときのこと」には 87.5%,「みんなちがってもいいこと」には 62.5%の回答が得られた。また,「ほかに「こころ」や「からだ」のことで気になること,困っていることがあったら書いてください。」という質問に対し,以下 4 件の回答があった。

- きもちのコントロール,ほかの人とのかかわり方,きよりかん,いやなことをしないためにはどうするか(原文ママ)
- 自分の中で好きな人が 4 人います。4 人のうち 2 人は,小中いっしょの女の子です。家も近で,小学校の時はいっしょにかえてました。最近になって自分の中で二人の事が気になる様になりました。後の二人はせんじつ実習にこられていた A 先生,B 先生です。理由は同じとくさつ好きでじょじょに気になってしまいました。(原文ママ,名前は個人情報の観点から修正)
- 好きな人と結婚する方法を知りたいです。
- 実習の先生方と一緒に給食を食べる時以外,1 人で音楽室で給食をたべたいきもちが時々ある。

図1 保護者アンケート結果



以上より保護者・生徒共にニーズのあった項目は以下の通りである。

(1)からだのこと

→プライベートゾーン,健康の維持,男女の体の仕組み,初経・月経,精通・夢精

(2)こころのこと

→友情・愛情,こころの健康(性被害にあわない,不安,葛藤の理解)

(3)おとなになること

→男女交際,結婚・男女の協力,避妊・家族計画,妊娠・出産,性交,マスターベーション

(4)いやなことをされたときのこと

→性被害にあわない,性の問題の加害者にならない,SNSトラブル,デートDV,性的同意

(5)みんなちがってもいいこと

→みんなの多様性理解(インクルーシブな価値観,男女間のマナー,友情・愛情)

ここから,(1)からだのこと／(2)こころのこと／(3)おとなになること／(4)いやなことをされたときのこと／(5)みんなちがってもいいこと,の5つのセクションに大きく分け,実践はこれを基に全5回計画することにした。

また,今回の研究では全く同じ内容の文言で作成された事前テストと事後テストを実施し,その正答率の変化で評価する。このテストも門下(2022)でセクシュアリティ教育を参考に定義された27項目の学習内容項目とアンケートの結果を基に生徒用A,生徒用B(重度知的障害者対象)を作成した。内容は巻末資料5・6に示している。

## 2. 対象生徒の実態

今回の実践における対象生徒は、P 特別支援学校高等部 3 年生 8 名(男子 6 名,女子 2 名)であり,それぞれ特性や必要な配慮が異なる。アンケートの結果や普段の様子から,生徒たちの実態は以下の通りである。

表 2 対象生徒の実態

生徒 A (女性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はおおむね有しており,むやみに話さないといったことは理解している。</li> <li>・自己犠牲の精神がややあり,トラブルを避けようとする傾向がある。</li> <li>・場面緘黙がみられる。</li> </ul>
生徒 B (男性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており,それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・対人間の距離間の取り方が場合によりわからないことがある。</li> </ul>
生徒 C (男性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンの基礎知識はあるが,「仲の良い友達」などの条件下では容認されるという誤った知識がある。</li> <li>・自分の体への認識が希薄な傾向がある。</li> <li>・記述に時間がかかる場合がある。</li> </ul>
生徒 D (男性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており,それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・こういったセンシティブな 話題に関して自己表現が苦手である。</li> </ul>
生徒 E (男性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており,それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・精神的に不安定になるときに,自責の念が強くなる。</li> <li>・性愛や恋愛への興味が強い。</li> </ul>
生徒 F (男性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており,それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・自身の加害性を自覚しており,是正したいと思っている。</li> </ul>
生徒 G (女性,重度知的障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンがどういったものなのかについては基本的に把握している。</li> <li>・羞恥心を理解している。</li> <li>・助けを求めることに抵抗がある。</li> <li>・センシティブな話題に関して自己表現が苦手,記述形式での回答に苦手意識がある。</li> </ul>
生徒 H (男性,重度知的障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンがどういったものなのかについては基本的に把握している。</li> <li>・教員の支援があると,授業に参加することが出来る。</li> </ul>

・記述に困難がある。

クラスの雰囲気は柔らかく皆仲が良い。休日に集まって遊ぶ様子も見られる。事前アンケートにおける自由記述欄で「好きな人と結婚する方法」や「恋の成就の方法」を希望と回答する対象者もあり、恋愛に強い興味を持っている。さらに異性との交際経験者、また性的問題行動の報告・指導のあった対象者も在籍している。

更に事前テストの結果は以下の通りである。

全体の正答率…平均 69.75%  
セクション(1)の正答率…平均 92.5%  
セクション(2)の正答率…平均 67.5%  
**セクション(3)の正答率…平均 50%(最低)**  
セクション(4)の正答率…平均 75%  
セクション(5)の正答率…平均 63.75%

特にセクション(3)(おとなになること)に理解の難しさを感じる生徒が多いことがわかる。ここにおける考察としてまず考えられるのはマスターバージョン等問題文に知らない単語があり回答がそもそもできなかった知識の問題があったことが挙げられる。また、距離感のつかみ方について、従来「お友達と仲良くしましょう」といわれていた環境で急に「距離感を適切に保ちましょう」といわれるのは理解の範疇を超えてしまい、回答中混乱する様子が見られ、従来の教育との差異があった事が考えられる。

この時点までで、生徒およびこのクラスの実態として、「プライベートゾーン」に対する認識はある程度有しているが、性に関する知識は乏しく距離感への理解も難しいといえることがわかる。

なお、I問題と目的の3. 特別支援学級における性教育の現状にも記した通り P 特別支援学校において、保健体育の中でいわゆる「性に関する教育」を受ける機会は年に2～3回と非常に少なく、その内容も「座談会」や「プール前指導」であり直接的な性に関する知識学習や指導は必要な生徒に個別で実施されているのが現状である。

### 3. 実践の手立てと期間

包括的セクシュアリティ教育はカリキュラムマネジメントの考え方を内包している。生徒自身が主体的に考え、自己と他者を守るための考えや行動を行うためには、授業づくりにおける工夫は必要不可欠である。各回の授業では「調べ学習」「ロールプレイ」を多く組み込み、また家庭での継続した学びのために読み返すことのできるテキスト(パンフレット)を「心と体のノート」と題して作成した。また、復習として各回に確認テストを実

施した。テストの内容は理解度チェックテストの内容をセクションごとに A では5つ,B では3つにわけ出題した。

加えて2で先述したように今回の実践の評価は,事前テストと事後テストの正答率の評価で分析を行うが,それだけでなく授業後の「振り返りシート」より生徒が授業においてどこに注視していたかを分析する。

なお,テキストは巻末資料 18,振り返りシートは巻末資料 17 に内容を記している。

実践は保健体育の時間ではなく LHR の時間に行った。これは問題と目的にも記載した通り「時間的リソース」のひっ迫している中で授業外の時間においてある一定の成果があれば般化も可能なのではないかと考えたためである。

実施期間は以下の通りである。

- |                              |
|------------------------------|
| (1)ベースライン期…202X年6月～翌年202Y年6月 |
| (2)実践1……………202Y年6月           |
| (3)実践2……………202Y年7月           |
| (4)実践3/4/5………202Y年10月        |
| (5)評価/分析………202Y年11月          |

(1)のベースライン期は約1年間 P 特別支援学校の性に関する指導及び保健体育の実施内容,また対象生徒の実態や日常生活の様子を観察した。その後実践前にアンケート,研究協力依頼書,同意書,事前テストを作成し生徒のこの時点での実態を分析した。

(2)(3)は一学期の間に行い,(4)までに夏休みを挟んだ。(4)は生徒自身の実習や修学旅行など他の予定の関係から10月中に3回実施した。全ての実践を終え,(5)では事後テストを実施した。

### Ⅲ 実践の結果

#### 1. 実践(1) 「からだのこと」

##### ①内容

実践(1)は前述の通り五つのセクションの内の一つ,からだのこと(プライベートゾーン,健康の維持,男女の体の仕組み,初経・月経,精通・夢精)について扱った。プライベートゾーンについては年に一回のプール前指導において生徒は学習履歴がある。しかし,プライベートゾーンを触られた時の対象法についての知識は希薄な傾向がある。

そこで資料7の指導案に示すように,題材名を「自分の身体を大事にしよう」と設定し,目標は「(1) プライベートゾーンは,自分だけの大切なところであることが理解できる。(2)プライベートゾーンについて理解し,自分や相手を大切にできるようにする。(3)自分の体を守るための練習をしながら,困ったことは人に伝えたりすることの大切さを知る。」として授業づくりを行った。

プライベートゾーンの指導についてはプライベートゾーンに関する「見ない」「見せない」「触らせない」という約束を繰り返し提示し,生徒の理解を促した。

また,西村・門脇(2024)を参考にロールプレイの内容を組み込んだ。ロールプレイは,教員が三名の内一人が「不審者」,一人が「信頼できる人」,最後の一人が「指導員」になって行った。事前に授業内スライドにて,「約束事」として以下の内容を提示した。ロールプレイをしながら生徒が「約束事」を確認できるよう,テレビに該当スライドを表示していた。

##### ①「やめて」「いや」と言う。

※声が出せない状況・声を出すのが苦手な場合は近くのを叩く,防犯ブザーを鳴らすなどの対処法を提示

##### ②すぐにげる。

##### ③相だんする。

スタート地点を「不審者」,ゴール地点を「信頼できる人」とし,教室前方にて一人ずつ行った。「不審者」の目の前で「やめて!」など拒否の意思表示をし,「信頼できる人」の前まで移動。その後不審者がどういった人間で何をされたかを報告する練習を行うことを一連の流れとした。その際「信頼できる人」役の教員には「教えてくれてありがとう」と生徒の行動を評価する姿勢を徹底し,事後相談の正当性を指導した。加えて茶番劇にならないように「指導員」は適宜,要点の確認を行った。ロールプレイ後は役割解除を行い,通常の関係性に戻るようにした。

この実践で筆者が重視したのは性犯罪における被害者が,障害の有無にかかわらず

自責の念に駆られることが多いという事例を念頭に置きながら、生徒たちの中の自尊心を尊重するよう指導の際は心掛けたことである。そのため指導上の留意点は多く設定している。

図2 ロールプレイの様子



## ②小テスト・振り返り

実践は全五回共通して最後にまとめ・小テスト・振り返りで知識の定着を図った。

小テストの内容は先述の通り理解度チェックテストの内容をセクションごとに A では 5 つ、B(重度知的障害)では 3 つにわけ出題している。その結果として今回実施前(事前テスト)にて正答率が平均 92.5%と全セクションの中で最も高かったものの、小テストの正答率は平均 77%と大幅に低下した。

振り返りの内容は以下の通りである。内容は原文ママだが一部中略している。

生徒 A…自分の体は大切にしたいと思いました。

生徒 B…いやなことをされた時は「やめて」と言って、すぐに逃げてから信頼している人に言う。

生徒 C…また子飼橋に交番に行きたいです。

生徒 D…自分の声をだすかわりに近くのもの音を出すことを初て聞きました。

生徒 E…江頭先生の心の授業を受けて、小学校の時の自分を振り返ることができました。

生徒 F…不審者にイヤということをしました。やってみて難しかったです。

生徒 G…(欠席)

生徒 H…「やめて」をいいました、まえにでたのがはずかしかったです

生徒 B・生徒 D のように「授業内容の復習と確認を行う生徒」、生徒 A・生徒 E のように「心境の変化を綴る生徒」、生徒 F・生徒 H のように「授業に対して難しさを感じる生徒」、生徒 C のように「授業内容から連想して意図とは異なる結論を出す生徒」な

どの様子が見られた。

## 2. 実践(2) 「こころのこと」

### ①内容

実践(2)は前述の通り五つのセクションの内の一つ、こころのこと(友情・愛情,こころの健康(性被害にあわない,不安,葛藤の理解))について扱った。事前アンケートからも友人との距離感がつかめないことや,一人で落ち着いた時間が欲しいといった旨を生徒も学びたいという姿勢が見られた。

そこで資料9の指導案に示すように,題材名を「お互いのこころの不調の対処法を知ろう」と設定し,目標は「(1) 悩みは人それぞれであり,悩むことはおかしいことではないと気づく。(2) こころの不調のサインに気づく。(3) こころの不調のサインに気づいた時に自分でできる対処法,周りのできる対処法を考える。」として授業づくりを行った。

実践(1)にて生徒からは「ロールプレイが恥ずかしかった」という意見,教員からは「幼児向けの内容であり,高等部の生徒にはやや簡単すぎる内容である」「自分事として考えるには難しい内容であった」という意見があった。それを基に実践(2)では,内容をより高校生向けに指導内容を修正した。また「自分事として考える」という点について,この実践当時生徒自身が「実習」に行っていたその後だったということもあり,そこに関連させながら身の回りにあるストレスについて取り扱った。

ストレスを「こころの不調」として説明し,どういった時に発生するかを生徒たち自身に考えさせた。その後,どのようにそれを解消しているかもワークシートにてクラス全体で周知した。これは「こころの不調」について生徒たちが自覚し,ため込まないようにすること,自分なりの対処法を知ること,そして周りの人の「こころの不調」にどう向き合うかを考えることを目的とした。さらに授業を通して「心身の健康を守る権利」という単語を提示し,「こころの不調」は自分にも周囲にもあることの相互理解を促した。

また,この時筆者自身の「こころの不調」の内容や,普段どのように「こころの不調」を解消させているかをあらかじめ紹介し,生徒が答えやすい雰囲気づくりを醸成した。また振り返る内容がない,または対処法がわからない生徒に対しても否定せず,その場合はインターネット等の調べ学習を利用するように促した。加えてこころの不調についての話は性質上ネガティブなものになりがちだが,客観的に語るモデルを示すという意味合いで淡々と感情的にならない程度に語ることに留意した。

授業の終盤には人との距離感について,「人に囲まれている方が安心する人」も「一人で静かに過ごしたい人」もいることを提示し,適切な距離感を持つことの大切さについて指導を行った。

図3 実践(2)で使用したワークシート

<p><b>【ワーク①】</b> 「こころの不調」がどんな「こころのサイン」としてあらわれる？</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px;"></div>	<p><b>【ワーク②】</b> 「こころの不調」にどんな方法で対しょをしているか振り返ってみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px;"></div>
<p><b>【ワーク③】</b> まわりの人が「こころの不調」を感じているとき自分にできることはなんだろう</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px;"></div>	

## ②小テスト・振り返り

実践(1)同様小テストと振り返りで知識定着を図った。結果として今回実施前(事前テスト)にて正答率が平均 67.5%であったのに対し、小テストの正答率は平均 76.6%と上昇した。

振り返りの内容は以下の通りである。内容は原文ママだが一部中略している。

生徒 A…当時クラスメイトからいじめを受けたことを思い出した(中略)  
生徒 B…こころの不調は、相談して、気持ちをスッキリする。  
生徒 C…ホームルームで勉強をしました。江頭先生の勉強の津波に勉強をお願いします。  
生徒 D…友達に寄り添う。みんなや先生など約束を守ることを気をつけます。  
生徒 E…今日の心の授業を受けて心に閉まっている、自分をいえたので良かったです。  
生徒 F…困った時に自分にできることは何か考えるのが難しかったです。  
生徒 G…(欠席)  
生徒 H…(欠席)

生徒 B・生徒 D のように「授業内容の復習と確認を行う生徒」、生徒 A・生徒 E のように「心境の変化を綴る生徒」、生徒 F のように「授業に対して難しさを感じる生徒」、生徒 C のように「授業内容から連想して意図とは異なる結論を出す生徒」などの様子が見られた。この振り返りの分析は実践(1)の時と該当生徒が一致しており、特に生徒 F

に関しては引き続き実践に対する難しさを感じていることからさらに工夫が必要であると結論づけた。

### 3. 実践(3) 「おとなになること」

#### ①内容

実践(3)は前述の通り五つのセクションの内の一つ、おとなになること(男女交際,結婚・男女の協力,避妊・家族計画,妊娠・出産,性交,マスターベーション)について扱った。

資料 11 の指導案に示すように,題材名を「体と心の変化を知ろう」と設定し,目標は「(1)自分や友達に起こる体と心の変化について知り,個人差に気づく。(2)性器を清潔に保つ方法を知り,誰にも見せない・触らせないといった基本的な自己保護の考え方を身につける。(3)性的同意のポイントを理解し,相手の気持ちを尊重しながら自分の意思を伝えることの大切さを学ぶとともに,「大人になる」とは自分で考え責任を持って行動することだと気づく。」として授業づくりを行った。

ここで注視すべきは,「性交」「マスターベーション」特にこの二つに関していかに取り扱うかということである。これらの内容は明らかに「歯止め規定」に抵触する。しかしながら保護者アンケートでも50%と高い数値で指導ニーズがあることがわかっている。

そこで担任の教員や養護教諭にも相談を重ね,そもそも「性交」や「マスターベーション」に対して何が学びたいのか,何を指導してほしいのかという授業における主軸を定めた。筆者の結論として,「子細な方法」というよりはそれに関する注意点,例えば一人でいるときに行うだとか,清潔な手で行うだとか,決して悪いことではなく誰にでも当たり前な行為だが見せびらかしていいものではないことなどを主軸とし,実践(1)のプライベートゾーンの約束事に絡めながら慎重に指導を行った。加えて性行為やマスターベーションだけでなく性器の洗い方を含めて「性器の健康を守る方法」としてまとめセンシティブな表現にならないよう心掛けた。

またこの時筆者が重視したのは「やってもいいけど,しなくちゃいけないわけではない」という義務を感じない雰囲気づくりである。この文言は繰り返し提示し理解を促した。

さらにこの実践では,前半にて性交について扱った事を踏まえ「性的同意」について取り扱った。性的同意についてのポイントとして以下を提示した。

#### ★性的同意のポイント

- ①性的なことをするとき,「したい」「してもいい」をお互い自由に言える平等な立場であること
- ②性的なことをするとき,相手に任せず自分で決めること

### ③自分の意見を相手にしっかり伝えること

ここでは「性的同意」について、平等な立場であること、自分事として考えること、意思表示の重要性を挙げた。

前半がどうしても知識学習に偏ってしまうことから、後半の指導は主にワークシートを用いて生徒自身で考え発表することに注視した。しかしながら、考える上でヒントがなく自身で全て考える必要のある記述には難しさがある生徒もいることをこれまでの実践で理解していたため、ワークシートは自由記述と選択式の二パターン作成した。

#### 図4 実践(3)で使用したワークシート(一部)

##### 【こんなときどうする?①】

あなたには好きな人がいます。  
そんな好きな人に、「はだかを見せてほしい」とお願いをされました。はずかしくていやだけど、好きな人に  
さらわれたくありません。

- ①好きな人にさらわれたくないのをお願いを聞く。
- ②はずかしいから、いやだと返す。
- ③友だちに相談してから返事をする。

##### 【こんなときどうする?①】

あなたには好きな人がいます。  
そんな好きな人に、「はだかを見せてほしい」とお願いをされました。  
はずかしくていやだけど、好きな人にさらわれたくありません。  
どうしたらいいでしょうか?

#### ②小テスト・振り返り

結果として今回実施前(事前テスト)にて正答率が平均50%であったのに対し、小テストの正答率は平均76.6%と大幅に上昇した。

振り返りの内容は以下の通りである。内容は原文ママだが一部中略している。

生徒 A…1番の「体はどう変わる」以外の②と③が自分のイメージや考えることがめっちゃくちゃむずかしくてわかりにくかったです。(後、男女のイラストは、自分てきにみたくないです。)

生徒 B…考えるのが、とても難しかったです。

生徒 C…こころとからだの勉強をしました。好き合うプライベートンは恥ずかしいと言われる僕が大人になったら結婚くれるのがキスになるためにお父さんになりたいです。

生徒 D…むずかしかったことはプライベートゾーンです。

生徒 E…久しぶりの、江頭先生の授業はとても楽しかったです。次の授業も楽しみです。

生徒 F…難しかったです。

生徒 G…(欠席)

生徒 H…(欠席)

生徒 E のように「感想を綴る生徒」、生徒 A・生徒 B・生徒 D・生徒 F のように「授業に対して難しさを感じる生徒」、生徒 C のように「授業内容から連想して意図とは異なる結論を出す生徒」などの様子が見られた。

今回はほとんどの生徒が「難しい」という意見を持っており、特に生徒 A の感想から、デフォルメした画像だとしても裸のイラストは慎重に扱うべきという反省が得られた。

#### 4. 実践(4) 「いやなことをされたときのこと」

##### ①内容

実践(4)は前述の通り五つのセクションの内の一つ、いやなときをされたときのこと(性被害にあわない、性の問題の加害者にならない、SNS トラブル、デート DV、性的同意)について扱った。

資料 13 の指導案に示すように、題材名を「SNS や人との関わりについて」と設定し、目標は「(1) SNS を安全に利用するために、危険やトラブルの種類(なりすまし・リベンジポルノ・うその情報など)を理解する。(2) SNS 上や人間関係の中で、いやなことには「イヤ」と言い、自分の体と心を守る行動を身につける。(3) 友人・恋人関係など身近な場面でも、相手の気持ちを尊重し、暴力や支配(デート DV)を許さない姿勢を育てる。」として授業づくりを行った。

実践(3)では指導内容に対しての難しさを感じる生徒が多かったが、一方でワークシートを使用したことに対してはおおむね好感が見られたため実践(4)でもワークシートを多用した。さらに今回は調べ学習も取り扱った。

図5 実践(4)で使用したワークシート(一部)



またこれまでの実践において、一貫して「いやなこと」というのは抽象的であり、生徒はイメージしにくいという意見が教員から得られたため実践(4)ではできるだけ具体化しての説明を心掛けた。

加えて、普段の授業とは雰囲気の違い指導では生徒たちの意欲も上がらず、居眠りする生徒も多いとの意見もあり、授業の導入では内容に関連したニュースを紹介し少しでも生徒たちの知的な刺激になるような授業づくりを目指した。

内容に関連して,今回は SNS という生徒にも非常に身近な存在を取り扱う。そのため「SNS は悪いものではなく,安全に使う工夫が大切」と肯定的に伝えた。SNS に関するトラブルを紹介しながら,実践(3)の反省から表現はソフトにし,性的な描写や恐怖感をあおらないよう心掛けた。

更に「いやなこと」については,先述の通り具体的に「プライベートゾーンを触られるなどの性的な嫌がらせのこと」と説明しながらも,「加害者・被害者」として特定の人を連想させないように留意した。

## ②小テスト・振り返り

結果として今回実施前(事前テスト)にて正答率が平均 75%,小テストの正答率は平均 86.6%と上昇した。

振り返りの内容は以下の通りである。内容は原文ママだが一部中略している。

生徒 A…××(インフルエンサーなど所属している事務所)が5日のライブを行うと同時に殺害予告出されることを見た事がありました。
生徒 B…(欠席)
生徒 C…江頭先生の授業を聞いてテレビでニュースを見ようと思いました。警察に相談しようと思いました。
生徒 D…SNSトラブルは起こさないように気を付ける。
生徒 E…とても楽しかった。今日授業でSNSについてより注意しつつ,使おうと思いました。
生徒 F…デートDVについてもっと知りたいと思いました。
生徒 G…らいんでいやなことはかかない
生徒 H…ユーチューブをみるときは,やくそくをまもります。

生徒 C・生徒 D・生徒 E・生徒 F・生徒 G・生徒 H のように「授業内容の復習と確認を行う生徒」,生徒 E のように「感想を綴る生徒」,生徒 A のように「授業内容から連想して意図とは異なる結論を出す生徒」などの様子が見られた。今回は指導内容に難しさを感じる生徒はいなかった。また,ほとんどの生徒が,指導の意図を理解しており,授業中も積極的な姿勢が見られた。

## 5. 実践(5) 「みんなちがってもいいこと」

### ①内容

実践(5)は前述の通り五つのセクションの内の一つ, みんなちがってもいいこと(みんなの多様性理解,インクルーシブな価値観,男女間のマナー,友情・愛情)について扱った。

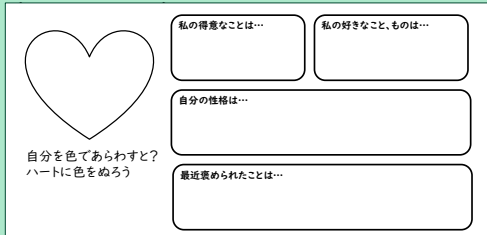
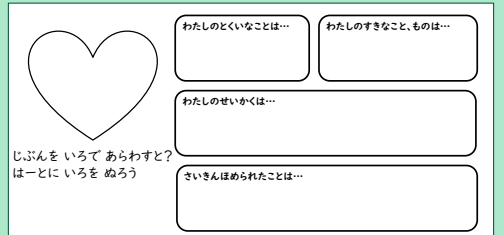
資料15の指導案に示すように、題材名を「みんなちがってみんないい～自分らしさと多様性を考えよう～」と設定し、目標は「(1)絵本や身近な人の例から「ちがいがい」について考え、自分と他者のちがいに気づくことができる。(2)社会にあるさまざまなちがいがい(性別・恋愛・年齢・文化・考え方など)を知り、多様性を肯定的にとらえることができる。(3)自分のよさや「自分らしさ」を見つけ、前向きに表現することができる。(4)「みんなが自分らしく生きられる社会」を考え、他者を尊重する態度をもつことができる。」として授業づくりを行った。

実践(4)ではかなりの好感触であり、実践(5)のおおまかな授業づくりは実践(4)を参考にして行った。導入に授業内容に関連したニュースを引用することは、生徒の興味を引くのに特に大きな効果がみられたため、生徒たちに人気のインフルエンサーのインタビュー記事や、楽曲の歌詞を引用し紹介した。

実践(5)では多様性について取り扱うが、その際社会に内在する様々な「ちがいがい」について教員を比較対象とすることで、身近なこととして生徒が考えることが出来るようにした。「ちがう＝悪い」ではなく「ちがう＝その人らしい」と自然に感じ取れるように説明し「特別な人」ではなく「みんなの中にあるちがいがい」として話すことを心掛けた。ジェンダーについても紹介を行い、社会に内在するマイクロアグレッションについての理解も促した。

ワークシート「自分らしさ・自分の良さシート」をA版、B版の二パターン作成した。生徒が記入しやすいよう教員の例を際に提示し、事由に記述していいことを強調した。

図6 実践(5)で使用したワークシート

<p><b>【自分らしさ・自分の良さシート】名前</b></p> 	<p><b>【じぶんらしさ・じぶんのよさシート】なまえ( )</b></p> 
--	---

また、授業後別日に、補足として木戸優起(著)キタハラケンタ(イラスト)「ふたりのももたろう」(ドリームインキュベータ)を朗読、その物語の展開についてワークシートを使い学習を行うことで理解を深めた。

図7 「ふたりのももたろう」表紙

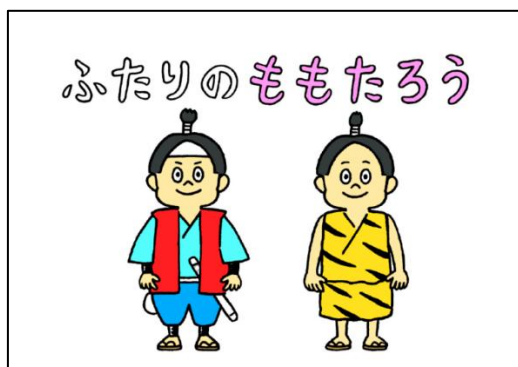




図8 「ふたりのももたろう」ワークシート

**【宿題】**  
ここに入るセリフをかながえてみよう

 おにはわるいやつ! たいじしないといけない!

というもうひとりのももたろうとなかよくするには  
なんといえばいいでしょうか



## ②小テスト・振り返り

結果として今回実施前(事前テスト)にて正答率が平均 63.75%であったのに対し、小テストの正答率は平均 90%と大幅に上昇した。

振り返りの内容は以下の通りである。内容は原文ママだが一部中略,人名などは伏せている。

生徒 A…(欠席)

生徒 B…鬼は優しい部分があるから,そのおにももたろうに人間のももたろうに思いを  
伝えたと考えました。

生徒 C…江頭先生に勉強で桃太郎の本とこころ体に悪い犯人いたら先生や警察に相談  
してしたいと思いました。こころ体にはプライベートゾーンが見ないしたい  
犯人いたらにけるストーカーの女の子がにけるので走って警察に交番にいき  
たいと

生徒 D…自分らしさを大事にします。心の身体の授業を受けて僕はハートを縫って  
楽しかったです。

生徒 E…とても楽しかったです。江頭先生の授業で自分の心についてや昔の自分を振

り返ることが出来ました。江頭先生の授業を受けれてとても嬉しかったです  
生徒 F…優しくしようと思いました。

生徒 G…(欠席)

生徒 H…友達がいっぱいいいなあとおもった。

生徒 C・生徒 B・生徒 D・生徒 F のように「授業内容の復習と確認を行う生徒」,生徒 C・生徒 E のように「感想を綴る生徒」,生徒 H のように「授業内容から連想して意図とは異なる結論を出す生徒」などの様子が見られた。今回も指導内容に難しさを感じる生徒はいなかった。

## 6. 事後テスト

事後テストは 11 月某日,実践(5)の一週間後に実施した。内容は II 実践の概要にて提示したように全く同じ内容の文言で作成された事前テストと事後テストを実施し,その正答率の変化で評価する。内容は巻末資料 5・6 にて掲載している。

実施の結果は以下の通りである。

【事前テスト】	【事後テスト】
全体の正答率…平均 69.75%	全体の正答率…平均 82.33%
セクション(1)の正答率…平均 92.5%	セクション(1)の正答率…平均 85%
セクション(2)の正答率…平均 67.5%	セクション(2)の正答率…平均 83.33%
セクション(3)の正答率…平均 50%	セクション(3)の正答率…平均 81.67%
セクション(4)の正答率…平均 75%	セクション(4)の正答率…平均 63.33%
セクション(5)の正答率…平均 63.75%	セクション(5)の正答率…平均 86.67%

事前テストと比較すると全体の正答率は大幅に上昇したことがわかるが,セクションごとに見ると一部大きく正答率の低下したものも見られた。なお,事前テスト時には八名全員が出席していたものの,事後テスト時には欠席者が二名いた。

## IV 考察

### 1. 実践(1)に関する考察

まずは実践(1)についての考察である。実践(1)は初めての授業ということもあり、生徒の様子を慎重に見ながら行った。事前テスト、小テスト、事後テストの正答率を比較すると平均 92.5%、平均 77%、平均 85%であり、見てわかるように正答率が大幅に低下した後やや回復したという変遷を確認できる。

まず「事前テストから小テストの結果が大幅に低下したこと」に関する考察として挙げられるのは、指導時にロールプレイをメインにしたため、知識学習が希薄になっていたこと、また回答時に居眠りをしており問題文を熟読できていない生徒がいたことがあげられる。これを受け、以降の実践では知識学習とロールプレイのバランスの再考と指導時間の変更に留意することにした。しかしながら、後者に関しては後述の実践(4)にて居眠りの生徒がいなかったものの正答率が低下したことから、生徒の学習上の成果に必ずしも影響するとは断定できないため、あくまで参考程度に留めた。

また事前テストの結果が非常に高かったにもかかわらずここまで低下したのには、「距離感」や「いやなこと」など抽象的な概念を使用していたがために混乱を招いてしまったのではないかと考えている。この点は生徒の中で、事後テストにおける問(4)「いやなことをされたけど、先生に行ったら友達との関係がこわれそうだから言わない方がよい。(原文ママ)」や、問(5)「プライベートゾーンは友だち同士でふざけて話してもよい。(原文ママ)」に対して誤答が目立っていたことから判断することが出来る。

他方「小テストから事後テストにかけて正答率がやや回復したこと」に関する考察として挙げられるのは、実践(1)を復習として取り扱う機会をその後の実践で多少なりとも設けたことである。実践(1)において、先述のように知識の定着が望めなかったことの補足が他の実践の時間に出来たことで、生徒たちの理解が進んだのではないかと考えられる。この点に関しては、振り返りの内容からも察することが出来る。実践(1)は「プライベートゾーン」について扱い、それについての約束事を確認するためにロールプレイを行うという流れであった。が、ロールプレイに注目する感想、例えば生徒 H の「やめてをいいました、まえにでたのがはずかしかったです」などが多く見られ、プライベートゾーンという単語について触れる生徒はいなかった。またロールプレイを行ったことで生徒 C の「また子飼橋に交番に行きたいです。」といった、授業の本来の意図ではなく、自身の興味を持った事象に対しての記憶が強く残ったケースも見られた。

### 2. 実践(2)に関する考察

次は実践(2)についての考察である。実践(2)は実践(1)を踏まえて「知識学習」とその他の学習のバランスを見ながらの授業づくりとなった。事前テスト、小テスト、事後テストの正答率を比較すると平均 67.5%、平均 76.6%、平均 83.33%であり、見てわかるよう

に正答率が徐々に上昇したという変遷を確認できる。

これに関しては以下のような考察ができる。知識学習とロールプレイのバランスを見るためにワークシートを準備し生徒同士で話し合い、自分で考える主体的な授業にしたことに加えて知識学習は教師から都度補完しメインにはしないよう留意したことで生徒の中に、知識と価値観が共存しながら印象に残すことが出来たのではないかと考えられる。

振り返りの内容でも生徒 D の「友達に寄り添う。みんなや先生など約束を守ることを気をつけます。」や、生徒 B の「ころの不調は、相談して、気持ちをスッキリする。」といった授業内容を反復する様子が見られた。さらに実践(2)の期間は生徒自身の実習があり環境の変化やストレスを感じていたことから自分事として考えられたことも大きかった。

実践(3)以降では引き続き今回好転した内容に取り組む方針とした。加えて実践(3)については前回の改善点で挙げた「指導時間の変更」について、違う指導時間を得られたため、その変化についても観察を行った。

### 3. 実践(3)に関する考察

続いて実践(3)についての考察である。先述の通り、この実践(3)のみ普段と指導時間が異なり午前中における実践である。これまでの授業では週末の夕方という、生徒にとって非常に眠くなる時間帯であり、授業の終盤には居眠りをしてしまう生徒が多く見られた。無論著者の授業づくりの技量が足りていないことに関しての証左でもあると思うが、試験的に時間帯の変更について観察しておくのも必要であると考えた。事前テスト、小テスト、事後テストの正答率を比較すると平均 50%、平均 76.6%、平均 81.67%であり、この実践においても正答率が徐々に上昇したという変遷を確認できる。

これに関しては以下のような考察ができる。まず、「事前テストから小テストにかけて正答率が大幅に上昇したこと」については、居眠りする生徒がおらず一貫して指導できたことは影響が少なからずあったのではないかと考えられる。また、ワークシートも「自由記述」と「選択式」のどちらでも回答できるようにしたことも教室内にいるすべての生徒が集中、かつ主体的に学ぶ姿勢を醸成できたのではないかと分析できる。ただし知識学習の観点においては、事前テスト時点で知らなかった「マスターベーション」などの単語について授業内で扱ったことで正答率が上昇したことは否めない。

また、「小テストから事後テストにかけても安定した正答率の上昇が見られたこと」に関する考察としては、性加害を抽象化した概念である「いやなこと」を実践(3)においては「恥ずかしくていやだけど」など理由とともに事例を紹介したことで今後想像しやすくなったことを挙げる。

加えて振り返りにおいては生徒 B の「考えるのが、とても難しかったです。」からもわかるように実践(3)は授業の難しさについての感想が多かったが、著者はこれについて

「難しいと感じる程この授業内容について深い議論ができた」と肯定的に捉えている。とはいえ生徒 A のように「1 番の「体はどう変わる」以外の②と③が自分のイメージや考えることがめちゃくちゃむずかしくてわかりにくかったです。(後,男女のイラストは,自分てきにみたくないです。)」からもわかるようにデフォルメされている,もしくは衣服をつけているとはいえ,男女の身体的特徴がわかるようなイラストに関してはある程度の線引きや選定が必要であること,そういった配慮は念頭に置くべきであることを強く留意する必要がある。

図9 実践(3)において「自由記述」を選んだ生徒と「選択式」を選んだ生徒のワークシート

【こんなときどうする?①】  
あなたには好きな人がいます。  
そんな好きな人に、「はだかを見せてほしい」とお願いをされました。  
はずかしくていやだけど、好きな人にきらわれたくありません。

①好きな人にきらわれたくないのでお願いを聞く。  
②はずかしいから、いやだと返す。  
③友だちに相談してから返事をする。

【こんなときどうする?①】  
あなたには好きな人がいます。  
そんな好きな人に、「はだかを見せてほしい」とお願いをされました。はずかしくていやだけど、好きな人にきらわれたくありません。  
どうしたらいいでしょうか?

恥ずかしいから見せない

図10 実践(3)において使用した男女のイラスト(幼児期)

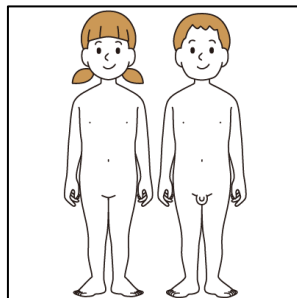
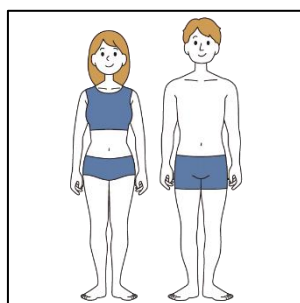


図11 実践(3)において使用した男女のイラスト(青年期)



<https://seikyokuiku-illust.com> より

#### 4. 実践(4)に関する考察

さらに実践(4)についての考察である。実践(3)にて大きな成果が得られたことから、著者は実践(4)でも「知識学習」と「その他の学習」のバランスについて留意した。しかしながら、今回は実践(3)とは異なり指導時間はいつも通り「金曜日の午後」であったため居眠りについての懸念は否めなかったが、ほとんどの生徒は起きていた。事前テスト、小テスト、事後テストの正答率を比較すると平均 75%, 平均 86.6%, 平均 63.33%であり、この実践では正答率が上昇したのちに大幅な低下をしたという変遷を確認できる。

まず「事前テストから小テストにかけて正答率が大幅に上昇したこと」に関しては、内容に関連して生徒自身の調べ学習を経て実施したテストであったことから、直後のテストに関しては理解度が非常に高かったのだろうと推察できる。

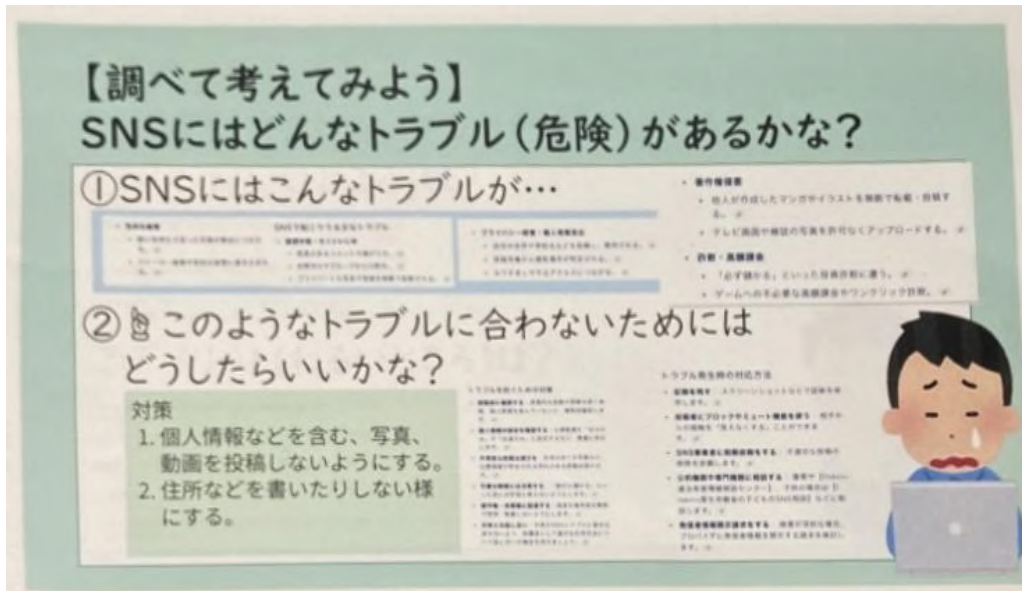
しかしながら「小テストから事後テストにかけて正答率が大幅に低下したこと」には、調べ学習のワークシートにて自身の言葉でまとめるのが難しい場合は、インターネット上のスクリーンショットを貼り付けても構わない旨を説明したと事で、ほとんどの生徒がその方策を取るかコピーアンドペーストを行っており、生徒の能動的な学びにはつながらなかったことが影響していると考えられる。この点は事後テストの間(19)「SNSに「自分だけしか見られない」と思って写真をのせたら、だいじょうぶだ。(原文ママ)」に対して、誤答が目立ったことから判断することが出来る。生徒が貼りつけていたスクリーンショットの内容で「鍵アカウントにすると良い」という要旨が多用されており、授業内でも「鍵アカウント」の存在を学習したものの、その概要を「最低限のプライバシーを守るための一つの手段」ではなく「完全にプライバシーが守られる手段」と誤認したまま記憶してしまったのではないかと推察できる。

とはいえ、打ち込みや文章をまとめることに難しさを感じる生徒が授業に参加するためにも合理的配慮として必要な方策ではあるため、この点に関しては代替案を用意することが必須である。

生徒Dの振り返り「SNSトラブルは起こさないように気を付ける。」からも把握できるように学習内容の振り返りは見られたものの、どのように気を付けるのかという点に

注視している生徒はおらず、調べ学習で終わるのではなく、ここからどう発展するのかまでサポートし指導する必要があったという反省点が得られた。

図12 実践(4)においてスクリーンショット等を用いたワークシートの記入例




## 5. 実践(5)に関する考察

最後に実践(5)についての考察である。この実践が最後であることからこれまでの反省点、「授業内容のバランス」、「性に関するコンテンツにおける倫理的配慮」、「学習上の難しさに対する合理的配慮」、「ワークシートなどの学習直後のフォローアップ」を受けて授業づくりを行った。事前テスト、小テスト、事後テストの正答率を比較すると平均 63.75%、平均 90%、平均 86.67%であり、この実践では正答率が大幅上昇したのちに横ばいになった変遷を確認できる。

ここでは、授業冒頭で生徒たちも周知のインフルエンサーの「多様性に対する考え方」に触れたことや、筆者(指導者)と比較して社会に内在する「ちがひ」、つまりは多様性について学習したことで、知的好奇心を刺激しながら生徒にとって状況を非常に想像しやすくなったことが、「事前テストから小テストにかけて正答率が大幅に上昇したこと」に関連していると考察できる。さらに、ワークシートは今回選択式ではないものの「生徒の自己肯定感を視覚化」したことで、テストの問題の一つ「ほかの人の良いところだけを大切にすればいいので、自分はどうでもいい」などに関連して「自分はどうでもいい」という意識が薄れたことで正答率が上昇したのではないかと考えることもできる。

図13 実践(5)において実施したワークシートの記入例

【自分らしさ・自分の良さシート】名前



自分を色であらわすと?  
ハートに色をぬろう

私の得意なことは…

- ・手先が器用
- ・料理が得意
- ・

私の好きなこと、ものは…

- ・猫
- ・仮面ライダー・ダンス
- ・工作

自分の性格は…


- ・嫌なことがあったら機嫌が悪くなる
- ・寂しがり

最近褒められたことは…


授業後実践の補足として他教科の空き時間に行った「ふたりのももたろう」の朗読とそのワークシートにおける実践でも、生徒が授業内容の意図を汲みつつ、自身の意見を文章にまとめ記入する様子が見られた。多様性についての考え方で「相互理解には話し合いが必要」という授業内の要旨を応用し図14に示すように「話し合い」の内容を生徒自身が主体的に考え答えていたことから意欲的な様子が見られたと示してよいと考える。

図14 「ふたりのももたろう」の朗読後実施したワークシートの記入例

【宿題】  
ここに入るセリフをかんがえてみよう



おにはわるいやつ！ たいじしないといけない！



そんなことないよ！  
ここに居るおにさんたちは何も悪くしてない！  
ここのおにさんたちはとても仲が良く、みんな、いろんな好きなこと大切にしている！  
おにさんたちだけでなく、他にもいろんな動物さんたちや人も居る、とても楽しい島なんだ！  
だから退治しないで！

ただし、「小テストから事後テストの正答率がほぼ横ばいであったこと」は、実践(5)から事後テストまで一週間しかたっていなかったことで約4カ月前である実践(1)などに加え記憶が新鮮であった事で影響していることは無視できないのも事実であり、ここに関してはさらに考察の余地がある。

## 6. 本実践全体の考察

本実践全体を通して、事前テストの平均正答率は69.75%であったのに対し、事後テストでは82.33%へと上昇した。この結果から、本実践が生徒の理解の促進に一定の効果をもたらした可能性が示唆される。もっとも、この数値の上昇のみをもって学習効果を断定することはできず、各実践の内容や指導方法との関連を踏まえた検討が必要である。

各実践の結果を比較すると、正答率の変化は一様ではなく、実践ごとに異なる傾向が見られた。実践(1)や実践(4)では、ロールプレイや調べ学習を中心とした活動により、生徒の印象や興味関心が高まった一方で、知識の定着という点では十分とは言えない結果も確認された。一方、実践(2),(3),(5)では、知識学習と価値観の共有、ワークシートによる振り返りを組み合わせることで、正答率の安定的な上昇や維持が見られた。

これらの結果から、本実践においては、学習内容そのものよりも、授業構成や指導方法が学習成果に大きく影響していたことがうかがえる。特に、自由記述と選択式を併用したワークシートや、生徒の生活経験と結びつけた具体的な事例提示は、理解の促進や主体的な学習態度の形成に寄与したと考えられる。

また、正答率の上昇という量的な変化に加え、振り返りの記述には「相談してよいと思った」「自分の気持ちを考えた」といった表現が複数見られた。これらは、筆者の実践したかった、加えて生徒の中にその価値観を生み出したかった包括的セクシュアリティ教育において重要とされる自己理解や他者への配慮といった内面的な変化が、生徒の中に芽生えつつあることを示すものと考えられる。

一方で、本実践における評価方法には課題も残されている。テスト形式による評価は、知識の定着を測定する上では有効であるものの、生徒の価値観や態度の変容といった側面を十分に反映しているとは言い難い。そのため、今後は量的評価に加えて、ワークシートや振り返りを活用した質的評価をより体系的に位置づけていく必要があると感じた。

以上のことから、本実践は知的障害のある生徒を対象とした包括的セクシュアリティ教育として、知識面と意識面の双方に働きかける一定の成果を示したと考えられる。今後は、指導時間帯や教材表現、合理的配慮の在り方についてさらに検討を重ね、継続的な実践を通して教育効果を高めていくことが求められる。

## V まとめと今後の課題

本研究は、知的障害のある特別支援学校高等部生徒を対象に、包括的セクシュアリティ教育の実践を行い、その成果と課題について検討することを目的とした。近年、知的障害者を取り巻く性の問題は、性被害や人間関係の困難さといった側面からも注目されており、学校教育における系統的かつ継続的な包括的セクシュアリティ教育の重要性が指摘されている。本研究は、そのような社会的背景を踏まえ、実践を通して得られた具体的なデータを基に検討を行った点に意義があるのではないかと考えている。

本実践では、「からだのこと」「こころのこと」「おとなになること」「いやなことをされたときのこと」「みんなちがってもいいこと」という五つのテーマを設定し、知識学習とロールプレイ、ワークシートによる振り返りを組み合わせた授業を行った。その結果、事前テストの平均正答率 69.75% に対し、事後テストでは 82.33% へと上昇が見られ、量的な側面からも一定の学習成果が確認された。このことから、本実践が生徒の理解促進に寄与した可能性が示唆される。また、教員や指導時間などの「リソース」不足の中でも実施が出来たことは包括的セクシュアリティ教育の般化に繋がりうる研究となったのではないかと自己評価している。

一方で、各実践の正答率の推移や振り返りの内容を詳細に見ると、学習成果は一様ではなく、授業内容や指導方法によって大きく左右されていたことが明らかとなった。ロールプレイや調べ学習を中心とした実践では、生徒の印象や感情に強く残る反面、知識の定着が十分に図られない場面も見られた。一方、知識学習を適切に補完しつつ、具体的な事例提示やワークシートによる内省の時間を確保した実践では、正答率の向上や安定が見られた。これらの結果から、包括的セクシュアリティ教育においては、活動の楽しさや体験性だけでなく、学習内容を整理・定着させる構造的な支援が重要であることが示された。

また、本実践では、ワークシートの自由記述や振り返りを通して、生徒が「相談してよい」「自分の気持ちを考える」といった認識を示す場面が複数確認された。これらは、テストの正答率だけでは捉えきれない内面的な変化であり、自己理解や他者への配慮といった包括的セクシュアリティ教育の本質的な側面に関わる成果であると考えられる。この点において本実践は、知的障害のある生徒に対する包括的セクシュアリティ教育の意義を具体的に示す一例となったといえる。

しかしながら、本研究にはいくつかの課題も残されている。第一に、評価方法の課題である。テストによる量的評価は知識の定着を測る上で有効である一方、生徒の価値観や態度の変容を十分に反映することは難しい。今後は、ワークシートや振り返りを用いた質的評価をより体系的に位置づけ、複数の視点から学習成果を捉える方法を模索する必要がある。また、一年間・全五回という短期集中での指導であったことも評価の難しさに影響しているともいえる。以上より本テーマにおいて、複数の視点かつ長期的な研究を検討することが求められる。

第二に、指導方法および教材選定に関する課題である。授業時間帯による集中力の差や、性に関するイラスト・表現への心理的負担など、生徒の実態に応じた配慮の重要性が明らかとなった。合理的配慮として導入した方法が、必ずしも主体的な学びにつながらなかった場面もあり、支援と学習のバランスについては今後も検討が求められる。

第三に、実践の継続性に関する課題である。本実践は一定期間に限定されたものであり、上記のように長期的な変化や定着については十分に検証できていない。包括的セクシュアリティ教育は一度きりの学習で完結するものではなく、発達段階や生活経験に応じて繰り返し扱う必要がある。日常的なコミュニケーションでその学習が反映されているかの観察や、より具体性を持った実態把握をするうえで、今後は年間指導計画やカリキュラム全体の中で位置づけた継続的な実践が求められる。

第四に、欠席者に対するフォローアップが皆無だったことである。当然欠席者に対しても授業内で使用したワークシートや、「ここらとからだのノート」は配布しており、欠席していても見返せるようになってはいるものの、個別での補足説明などは行うことが出来なかった。そのことから欠席していた授業に関して正答率が下がる生徒は少なくなく、というよりもほとんどであり、ここを看過していたのは大きな課題である。「個別指導は孤立している印象を持たれる」という視点も念頭に置いて「同教室内での指導」について今後も検討を重ね続けるべきと考えている。

以上のことから、本研究は、知的障害のある生徒を対象とした包括的セクシュアリティ教育において、知識面と意識面の双方に働きかける実践の可能性と課題を明らかにした。今後は、本研究で得られた知見を基に、より効果的で生徒一人ひとりの実態に即した包括的セクシュアリティ教育の在り方について、実践と研究の両面から摸索をしていく必要がある。

## VI 引用文献

- Brown-Lavoie, S. M., Viecili, M. A., & Weiss, J. (2014). Sexual knowledge and victimization in adults with autism spectrum disorders. *Journal of autism and developmental disorders*, 44(9), 2185-2196.
- 樋上典子, 良香織, 田代美江子, 渡辺大輔. (2022). 思春期の生徒たちに「性の学び」を届けたい! 実践 包括的性教育『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』を活かす. エイデル研究所.
- 岩田千亜紀, 中野宏美. (2019). 発達障害者への性暴力の実態に関する調査. *東洋大学社会学部紀要*, 56(2), 23-37.
- 門下祐子. (2019). *知的障害児・者の性教育に関する研究動向* (Doctoral dissertation, Waseda University).
- 木戸優起, キタハラケンタ. (2021). ふたりのももたろう. *ドリームインキュベータ*.
- 儀間明子. (2024). *特別支援学級における包括的性教育実践-中学校特別支援学級の教育課程上の工夫を通して* (Doctoral dissertation, 琉球大学).
- 小出真奈美, 片岡千恵, 荒井信成. (2021). 小学校低学年における児童の自己肯定感を高める授業の試み—特別の教科道徳と体育の教科等横断的な取り組みから—. *日本健康教育学会誌*, 29(1), 61-69.
- 児島芳郎, 細渕富夫. (2011). 知的障害特別支援学校における性教育実践の現状と課題: 全国実態調査の結果より. *埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要*, 10, 105-110.
- 小畑伸五, 鶴岡尚子, 古井克憲. (2021). 知的障害のある人は特別支援学校の性教育で何を学んだのか: 卒業生を対象としたインタビュー調査から. *和歌山大学教育学部紀要. 教育科学*, 71, 11-18.
- 小畑伸五, 鶴岡尚子, 古井克憲. (2022). 知的障害特別支援学校における性教育の実践課題: 卒業生を対象としたインタビュー調査を通して. *和歌山大学教育学部紀要. 教育科学*, 72, 65-70.
- 小畑伸五, 鶴岡尚子, 古井克憲. (2024). 知的障害特別支援学校におけるセクシュアリティ教育 (包括的性教育) の成果: 高等部卒業生へのインタビュー調査を通して. *和歌山大学教育学部紀要. 教育科学*, 74, 17-24.
- 長浜亜希子. (2003). 知的障害者の性行動とそれに関わる指導員の対処. *北海道医療大学看護福祉学部紀要/北海道医療大学看護福祉学部紀要委員会 編*, (10), 17-24.
- 西村健一, 門脇絵美. (2024). 特別支援教育の視点で取り組むところとからだの授業. *ジアース教育新社*.
- 佐々木掌子. (2006). ジェンダー・アイデンティティと教育: 性的自己形成における遺伝と環境. *哲学*, 115, 305-336.

戸越幸彦. (2021) .熊本県知的特別支援学校における性に関する指導実践の実態—国際セクシュアリティ教育ガイダンスに則った包括的セクシュアリティ教育への転換と発展を目指して—.令和2年度熊本大学特別支援教育特別専攻科終了論文.

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、多くの方々から多大なるご支援とご協力を賜りました。ここに記して、心より感謝申し上げます。

まず、本研究の指導教官である熊本大学大学院教育学研究科の本吉大介先生には、研究テーマの設定から実践の構想、論文執筆に至るまで、学部生時より終始丁寧かつ的確なご指導を賜りました。思うように進捗が進まない時期においても、常に研究の本質に立ち返る視点を示していただき、またご自身の専門である ICT を駆使した合理的な研究方法をご指導・ご助言をいただいたことは、本研究を完成させる上で大きな支えとなりました。

また、大学および大学院での学びを通してご指導いただいた特別支援教育学科の諸先生方には、講義や演習を通して、多様な視点や理論的枠組みを学ばせていただきました。これらの学びは、本研究の基盤となるとともに、私自身の教育観を形成する重要な糧となりました。

さらに、本研究の実践の場としてご理解とご協力を賜りました P 特別支援学校の教員の皆様、ならびに高等部の生徒、そして保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。日々の教育活動でご多忙の中にもかかわらず、センシティブなテーマである本研究の趣旨をご理解いただき、アンケートや実践に快くご協力いただきましたことは、本研究を成立させる上で不可欠なものでした。生徒の皆様が示してくれた姿や反応の一つひとつが、私にとって大きな学びであり、研究を進める原動力となりました。

また、これまで折に触れて支えてくれた友人たちにも、この場を借りて感謝の意を表します。日常におけるふとした談話でも理知的な意見が突発的に飛び出し、議論を重ねる経験は私の中で非常に知的好奇心を深々と刺激されるものでした。また実践が思う様にいかず悩みを抱えていた日々の中でのたわいもない交流は、困難な局面を乗り越えるための癒しであり大きな力となりました。

最後に、本研究は特別支援教育の中でもまだまだ未知の領域かつ限られた分野を対象としたものであり、そこで得られた知見を今後さらに般化し、特別支援教育における生徒たちの「自己と他者を守る」ための学習の発展に寄与していきたいと考えて進めてまいりました。まだまだ課題はございますが本研究の完成は、ひとえに多くの方々のご支援の賜物です。改めて、心より感謝申し上げます。今後も生涯を通じて学びを進め模索してまいります。

令和 8 年 2 月 5 日

江頭 優里

# 卷末資料

# 研究協力依頼書

2025 年 4 月 11 日

実施責任者 氏名 江頭 優里  
所属 熊本大学教育学研究科 教職大学院の課程 特別支援教育実践高度化コース

下記研究課題は、熊本大学教職大学院教育学研究科における実践研究の一環として行う取り組みです。この研究実践に参加いただくための説明文書である本文書をお読みいただいた上で参加に同意いただける場合は、別紙にご署名をお願いすることになります。

なお、本文書の内容についてご質問があれば、いつでも担当者にご連絡ください。

## 1. 研究題目：特別支援学校高等部における自己と他者を守るための包括的セクシュアリティ教育の実践と課題

### 2. 研究の目的及び意義

近年、ユネスコから「包括的セクシュアリティ教育」という概念が提唱され日本でも少しずつ広がっています。「包括的セクシュアリティ教育」はいわゆる性に関する指導だけでなく尊厳や尊重、人生をより良くするための内容を内包したもので多岐にわたります。知的障害がある人が性被害を受けたり、反対に意図せず性加害に関わったりすることもある状況で、保健や家庭科の授業数が限られている中どのような教育が効果的であるのか、またその課題を見つける事が本研究の目的です。

### 3. 研究の方法及び手続き

ホームルームの時間、保健の授業を実践に充てさせていただき予定です。研究の方法として、日々の生活において包括的セクシュアリティ教育のコラムやワークシートを用いて、生徒の日常生活における意識がどう変容していくのか事前・事後アンケート、各期間に実施するテストを基に評価、研究をします。

### 4. 研究参加者として選定された理由

この研究では、知的障害のある生徒を対象としています。また、次年度から社会人となる高等部三年の生徒にとって社会に出た後の「性の在り方」、それに付随した自尊感情や責任と言った内容を指導することは本研究のテーマに合致するものであり有意義なものであると考えております。

### 5. 研究に伴って生じうる負担

本研究は非常に繊細なテーマを取り扱います。そのため実践前に生徒だけでなく保護者の皆様にも指導上のニーズ調査のためにアンケートをご回答いただくことを予定しております。お手数おかけします。

### 6. 研究の参加及び撤回の任意性

この研究への参加への同意はご本人および保護者様の自由意志によって決めてください。参加に同意いただけなかった場合も、参加を撤回された場合も不利益を受けることはありません。

## 資料 1

### 7. 研究参加者の個人情報及び研究で記録したデータの取り扱い

研究参加者の個人情報及び本研究で記録したデータはこの研究を遂行し、その後検証するために必要な範囲でのみ利用します。

### 8. 研究終了後の個人データの取り扱い及び成果の公表

研究終了後 5 年間は、研究で記録したデータ及び参加者の個人データを厳重に管理して保管します。研究終了の 10 年後、紙データはシュレッダーを用い、コンピュータに保存したデータも完全に消去して破棄します。これは文部科学省の研究不正行為への対応ガイドラインに基づいています。

本研究の成果は、実践報告会で発表します。個人が特定できる情報を無断で公表することはありません。発表等の際には実践における写真や動画の使用をお願いする場合があります。この点をあらかじめご了承くださいませようお願いします。

### 9. 本研究に関する資料の開示

本研究参加者の希望があれば、この研究の研究計画、研究方法、研究の結果についての資料を開示いたします。また、この研究に関するご質問がありましたらいつでも担当者までおたずねください。

### 10. 同意書への署名について

この説明文書を熟読いただき、疑問がありましたら、下記担当者にご質問ください。この研究をご理解の上で参加されることにご同意いただけるようであれば、実践開始前に同意書のご理解いただいた項目にチェックいただき、署名の上で、担当者に同意書をお渡しください。

### 11. この研究に関する連絡・問い合わせ先

この研究に関する連絡・問い合わせは下記宛てをお願いします。

担当者：氏名 江頭 優里

住所 〒860-8790 熊本県熊本市中央区黒髪 2 丁目 40-1

熊本大学教育学部 特別支援教育講座 本吉研究室

電話番号 (研究室) (直通)

e-mail アドレス

### この研究に関する苦情等連絡先

この研究に関して苦情等で上記連絡担当者には話しづらいことがありましたら、下記宛てご連絡をお願いします。

氏名 本吉 大介

住所 〒860-8790 熊本県熊本市中央区黒髪 2 丁目 40-1

熊本大学教育学部 特別支援教育講座 本吉研究室

電話番号： e-mail アドレス：

## 同意書

私は人を対象とする研究「特別支援学校高等部における自己と他者を守るための包括的セクシュアリティ教育の実践と課題」に関する以下の事項について説明を受けました。理解した項目については自分で□の中に☑印を入れて示しました。

- 研究の目的及び意義
- 研究の方法及び手続
- 研究参加者として選定された理由
- 研究に伴って生じうる負担
- 研究の参加及び撤回の任意性
- 研究参加者の個人情報及び研究で記録したデータの取り扱い
- 研究終了後の個人情報の取り扱い及び成果の公表
- 本研究に関する資料の開示
- 同意書への署名について
- この研究に関する連絡・問い合わせ先

なお、この研究において撮影・記録された参加者の映像（静止画・動画）・音声の公開につきましては以下の□の中に☑印を入れて示しました。

- 公開に同意しない
- 研究者を対象とする学術目的に限り、下記条件の下に公開に同意する
  - 顔部分など個人の同定可能な画像を含んでもよい
  - 顔部分や眼部などを消去・ぼかすなど個人の同定不可能な状態に限る
  - その他（特別な希望があれば、以下にご記入ください）

これらの事項について確認した上で、研究実践に参加することに同意します。

令和\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

生徒氏名\_\_\_\_\_

本研究に関する説明を行い、自由意志による同意が得られたことを確認します。

説明担当者署名\_\_\_\_\_

## 包括的セクシュアリティ教育に関する保護者アンケート

本アンケートは、以前説明させていただきました研究の実践前に指導内容の選定、保護者の皆様のニーズの調査、またお子様の実態把握するためのものであり、回答内容は今後の研究・授業づくりに活用させていただきます。成績に反映するものではなく、お子様の成長を支えるための貴重な資料となりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※5月20日（火）までにご回答ください。

熊本大学大学院教育学研究科教職大学院2年 江頭 優里

連絡先：

\* 必須の質問です

1. お子様の氏名をご記入ください。\*

---

2. お子様特に学んでほしいトピックを以下から選んでください(複数回答可)\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 生まれてきたときのこと
- 身体のこと(プライベートゾーン等)
- 健康の維持
- 男女の体の仕組み
- 第二次性徴
- 初経・月経
- 精通・夢精
- マスターベーション
- 友情・愛情
- 男女交際
- 男女間のマナー
- 家族・家族の役割
- 結婚・男女の協力
- デートDV
- 性的同意
- 性交
- 避妊・家族計画
- 妊娠・出産
- 中絶
- 性感染症
- 性被害にあわない
- 性の問題の加害者にならない
- インターネットのSNSのトラブル

3. その他このテーマに関連してご家庭で気になっていること、困りごとがありましたらご回答ください(自由回答)

---

---

---

---

---

# こころ あんけーと 心とからだのアンケート

なまえ  
名前 ( \_\_\_\_\_ )

みなさんこんにちは、江頭先生えがしらせんせいです。ご進級しんきゅうおめでとうございます。

先生せんせいは今、大学院だいがくいんでみなさんの「心とからだの健康けんこう」のための研究けんきゅうをしています。

その研究けんきゅうをすすめるためのかんたんなアンケートに協力きょうりょくをお願いします。

## ★おやくそく★

みなさんの回答かいとうは江頭先生えがしらせんせい以外いがいが見ることはありません。

あんしんして正直しょうじきに答こたえてください。

1、この中で<sup>なか</sup>学習<sup>がくしゅう</sup>したいことに<sup>まる</sup>○をつけてください、<sup>なんこ</sup>何個でも<sup>だいじょうぶ</sup>大丈夫です。

①からだのこと( )

(からだのことを<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>たいせつ</sup>する、<sup>からだ</sup>からだ<sup>が</sup>かわること、<sup>たいちょう</sup>体調<sup>わる</sup>が悪いとき  
どうするか)

②おとなになること( )

(だんだん<sup>おとな</sup>大人の<sup>からだ</sup>体<sup>が</sup>かわる、<sup>おとこ</sup>男<sup>こ</sup>の子と<sup>おんな</sup>女<sup>こ</sup>の子の<sup>からだ</sup>体のちがい)

③こころのこと( )

(<sup>とも</sup>友だちとうまく<sup>あそぶ</sup>あそぶ、<sup>とも</sup>友だちとけんかしたときどうするか、<sup>こい</sup>恋ってなに?)

④<sup>あか</sup>赤ちゃんが<sup>う</sup>生まれること( )

(<sup>あか</sup>赤ちゃんがどうやって<sup>う</sup>生まれるか、<sup>かあ</sup>お母さんのおなかで<sup>あか</sup>赤ちゃんが  
<sup>そだ</sup>育つこと)

⑤いやなことをされたときのこと( )

(だれかに<sup>じぶん</sup>自分の<sup>からだ</sup>体の<sup>こと</sup>ことでいやなことをされたときどうするか、<sup>ほか</sup>他の<sup>ひと</sup>人  
にいやなことをしないためにどうするか)

⑥みんなちがってもいいこと( )

(みんなが<sup>ちが</sup>違ってもいい、自分らしく<sup>じぶん</sup>いていい、男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>と女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>それぞれ  
<sup>ちが</sup>違っていても<sup>だいじょうぶ</sup>大丈夫)

2、ほかに「こころ」や「からだ」のことで<sup>き</sup>気になること、こまっていることがあつたら<sup>か</sup>書いてください。

(たとえば…「<sup>す</sup>好きな<sup>ひと</sup>人ができたけど、どうしたらいいの?」や

「<sup>こころ</sup>なんだか<sup>だいじょうぶ</sup>心かもやもやする、、、」などなんでも大丈夫です。)



アンケートにご<sup>きょうりょく</sup>協力ありがとうございました。

じぶん からだ ところ まも り かい ど ち え っ く て す と  
自分の体と心を守る 理解度チェックテスト

名前( )

まる ばつ えら とき なに か と  
○か×を選んでください。わからない時はそのまま何も書かず飛ばしてください。

れい ひと  
例:人にいじわるをしてもよい。→○ / X

(1)いつもなかよしの友だちなら、プライベートゾーンにふれても気にしなくてよい。

→ ○ / X

(2)氷着に着がえるとき、「ちょっとくらい見られてもいいかな」と思ってもよい。

→ ○ / X

(3)いやなことを言われても、あとで忘れられるならがまんしてもよい。

→ ○ / X

(4)いやなことをされたけど、先生に言ったら友だちとの関係がこわれそうだから言わない方がよい。

→ ○ / X

(5)プライベートゾーンの話は、友だち同士でふざけて話してもよい。

→ ○ / X

(6)いやな気持ちのときは、言わずににこにこしていた方がみんなが安心するからそのほうがよい。

→ ○ / X

資料 5

(7) 先生や親は、どんな気持ちでもわかってくれると思うから、言わなくてもよい。

→ ○ / X

(8) 友だちといっしょにいるときは、なるべくイヤなことがあってもがまんした方がよい。

→ ○ / X

(9) 友だちのさそいをことわったら、きられるかもしれないから行った方がよい。

→ ○ / X

(10) いつでも友だちとべったりいっしょにいる方がいい友だち関係だ。

→ ○ / X

(11) 成長して、気持ちがいらいらするのは自分だけでおかしいことだ。

→ ○ / X

(12) マスターベーションのことは、なかよしの友だちと相談したり話したりしてよい。

→ ○ / X

(13) マスターベーションは、トイレや学校でこっそりしてもよい。

→ ○ / X

(14) おとなになると、ぜったいにこまらないようにふるまわないといけない。

→ ○ / X

(15) 「おとなになること」がこわくなったりふあんになるのはわるいことだ。

→ ○ / X

(16) つきあっている相手だから、イヤなことでもしかたなくやってあげた方がよい。

→ ○ / X

資料5

(17) SNSで知らない人から「ひみつの話をしよう」と言われたら、ちょっとくらいならよい。

→ ○ / X

(18) いやなことをされたとき、自分もわかったと思ったら、だれにも言わない方がよい。

→ ○ / X

(19) SNSに「自分だけしか見られない」と思って写真をのせたら、だいじょうぶだ。

→ ○ / X

(20) 「イヤ」と言ったら友だちが怒るかもしれないから、言わないほうがよい。

→ ○ / X

(21) みんながちがう考えをもっていると、クラスのなかがうまくいかないかもしれない。

→ ○ / X

(22) 自分と考えがちがう人には、できるだけ近づかないほうがよい。

→ ○ / X

(23) 自分のよいところは、あまり言ったら自まんしているように思われるので言わないほうがよい。

→ ○ / X

(24) 友だちとちがう考えのときは、ぜったいに同じにしないといけない。

→ ○ / X

(25) ほかの人のよいところだけを大切にすればいいので、自分はどうでもよい。

→ ○ / X

## じぶんのからだところをまもる りかいどチェックテスト

なまえ( )

せいかいに ○をかいてください。

わからないときは とばしてください。

1. ふらいべーとぞーん は「だれにでも さわらせてよい ところ」です。

( )

2. みずぎ に きがえる ときは ひと に みられない ように  
するといいです。

( )

3. いやなことが あったら、しんらい できる ひと

(せんせい・かぞく など) に そうだん していいです。

( )

4. 「かなしい」「いらいらする」などの きもちは、かんじてもいいもの  
です。

(      )

5. ともだち とも、ちょうどよい きよりが あると いいです。

(      )

6. ますたーべーしょん の ことは、ひと に みせたり はなしたり  
しなくていいです。

(      )

7. 「おとな になる」っていう のは、じぶん で かんがえて えらぶこと  
が ふえていく という ことです。

(      )

8. えすえぬえす で しらない ひと から めっせーじ が きたら、  
むやみに こたえない ほうが いいです。

(      )

9. いやなことがあったとき、たすけをもとめてもいいです。

(      )

10. じぶんもたいせつにして、あいてのこともたいせつに  
していいです。

(      )

## 高等部 包括的性教育の実践 学習指導案

日時：令和 7 年 6 月 27 日(金)

場所：高等部 3 年教室

対象者：高等部 3 年生徒

指導者：江頭優里

### 1 単元（題材）名

「自分の体を大切にしよう」

### 2 本時の目標

- (1) プライベートゾーンは、自分だけの大切なところであることが理解できる。
- (2) プライベートゾーンについて理解し、自分や相手を大切にできるようにする。
- (3) 自分の体を守るための練習をしながら、困ったことは人に伝えたりすることの大切さを知る。

### 3 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考 ・ ICT 機器等
導入	2	1 はじめの挨拶をする。	○本時の目標の確認と、本時の授業の流れを生徒が理解できるように話す。	スライド 1-3
		めあて「自分の体について理解して自分の体を守る練習をしよう」		
展開	3	2 自分の体がどんな部位で構成されているかを考え、列挙した部位に不要なものがないことを理解し、自分の体はかけがえのないものであるという意識を持つ。	○「どうして自分の体は大切にしなければならぬのか」、生徒が再確認できるようにスライドを提示しながら話す。	スライド 4-6
	10	3 プライベートゾーンについて学習する。	○以前の保健の授業において学んだプライベートゾーンの概要を生徒共に復習しながら改めて説明し、加えてプライベートゾーンに関する「見ない」「見せない」「触らせない」という約束を提示し、生徒の理解を促す。	スライド 7-10
	7	4 いやなことをされた(性加害にあった)時の対処について学習する。	○「叫ぶ(大きな音を出す)」「逃げる」「事後の相談」について紹介し、生徒が不測の事態に陥った時のための知識をスライドを用いて紹介する。	スライド 11-14
	15	5 4で学んだことを踏まえ、教員とロールプレイを行う。	○教員二名が「不審者」「信頼できる人」と書かれた名札をそれぞれ胸元に貼りつけ、教室前方にてロールプレイを行う。 ○生徒が手順を理解できるように、スライド 16 をモニターに表示しておく。	スライド 15-21

資料 7

	2	6	いやなことをされても(背加害にあっても)自分は絶対に悪くないという意識を持つ。	○茶番劇にならないように T1 は適宜、要点の確認を行いながら指導する。 ○「信頼できる人」役の教員は相談を受けた後に「話してくれてありがとう」などの声掛けを行う。  ○ロールプレイ後は役割解除を行い、通常の関係性に戻るようにする。  ○性犯罪における被害者が、障害の有無にかかわらず自責の念に駆られることが多いという事例を念頭に置きながら、生徒たちの中の自尊心を尊重するよう指導の際は心掛ける。	スライド 22
	3	7	本時の内容のまとめを確認する。	○プライベートゾーンに関すること、加えて性加害にあった時の対処について、本時で紹介した内容をスライド一枚にまとめ提示する。	スライド 23
終末	3	8	振りかえりテストで復習を行う。	○生徒の実態に応じて A 版(計 5 問)、B 版(計 3 問)を作成する。	スライド 24 テスト用紙
	5	9	本時で学んだこと、振り返りを自由に記述する。	○記述が難しい生徒のため、筆記での回答ではなく、ロイロノート上で実施する。	ロイロノート

4 生徒の様子、目標、手立て

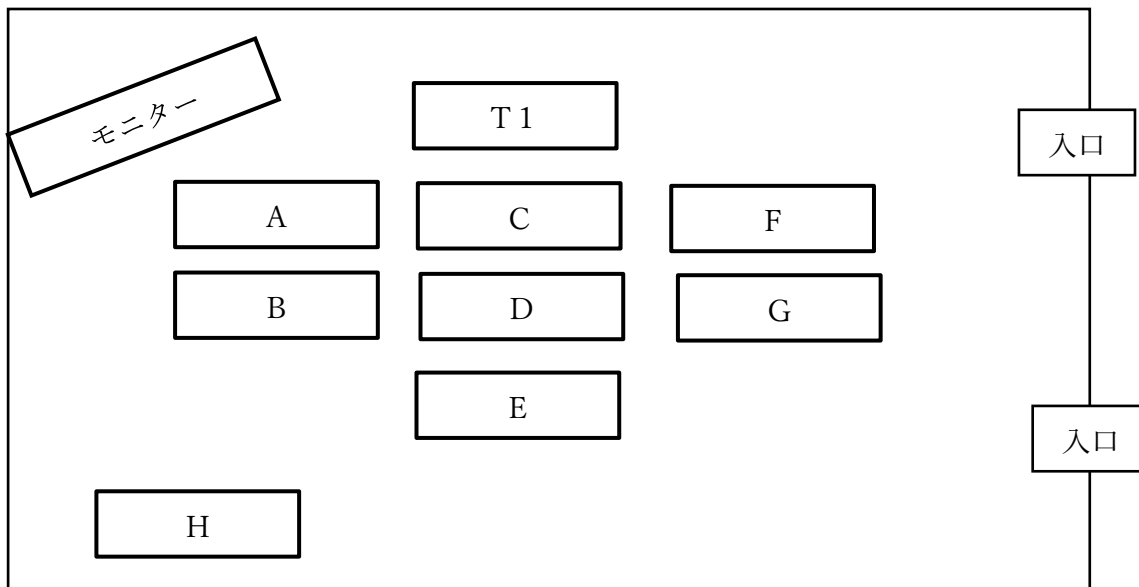
名前 (仮名) 学年	単元 (題材) における実態	単元 (題材) の個別目標	手立て
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はおおむね有しており、むやみ話さないといったことは理解している。</li> <li>・自己犠牲の精神がややあり、トラブルを避けようとする傾向がある。</li> <li>・場面緘黙がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いやなことをされたときの対処法を理解する。</li> <li>・自分の体は自分で守るという意識を持つ。</li> <li>・教師の支援を受けながらロールプレイングすることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行う。</li> <li>・ロールプレイングを用いて場面を想定しやすいように場の設定を行う。</li> <li>・活動に無理に参加させず、できる範囲での支援を行う。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており、それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・対人間の距離間の取り方が場合によりわからないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いやなことをされたときの対処法を理解する。</li> <li>・プライベートゾーンについて学んでいく上で、自己と他者両方の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行う。</li> <li>・問いかけを行い、授業の内容を復唱しながら理解を促す。</li> </ul>

		体を大切にするという意識を持つ。	
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンの基礎知識はあるが、「仲の良い友達」などの条件下では容認されるという誤った知識がある。</li> <li>・自分の体への認識が希薄な傾向がみられる。</li> <li>・記述に時間がかかる場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンは自分にとっても相手にとっても大事であるという意識を持ち、仲の良い友達など親密度に関わらずその意識は不変であることを理解する。</li> <li>・自分の体を守るための練習を通して、自尊心を育む。</li> <li>・教員の支援を受けながら授業の振り返りをすることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行いながら、「例えば」を用いて問いかけを行い、知識の定着を促す。</li> <li>・ロールプレイングの③において、積極的な声掛けを行う。</li> <li>・Cの思考をまとめるときやロイロノートの打ち込み時などに机間指導を行い、振り返りの支援を行う。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており、それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・こういったセンシティブな話題に関して自己表現が苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いやなことをされたときの対処法を理解する。</li> <li>・人に助けを求めてもよいのだという意識を持ち、ロールプレイングに参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行う。</li> <li>・ロールプレイングの③において、積極的な声掛けを行うが、強制して委縮してしまわないように慎重に様子を把握する。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており、それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・精神的に不安定になるときに、自責の念が強くなる。</li> <li>・性愛や恋愛に興味が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いやなことをされたときの対処法を理解する。</li> <li>・人に助けを求めてもよいのだという意識を持ち、ロールプレイングに参加できる。</li> <li>・プライベートゾーンについて学んでいく上で、自己と他者両方の体を大切にするという意識を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行う。</li> <li>・ロールプレイングの③において、積極的な声掛けを行うが、強制して委縮してしまわないように慎重に様子を把握する。</li> <li>・問いかけを行い、授業の内容を復唱しながら理解を促す。</li> </ul>

資料7

<p>F</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンに関する知識はすでに有しており、それに関する約束事についても把握している。</li> <li>・己の加害性を自覚しており、是正したいと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いやなことをされたときの対処法を理解する。</li> <li>・プライベートゾーンについて学んでいく上で、自己と他者両方の体を大切にするという意識を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行う。</li> <li>・問いかけを行い、授業の内容を復唱しながら理解を促す。</li> </ul>
<p>G</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンがどういったものなのかについては基本的に把握している。</li> <li>・羞恥心を理解している。</li> <li>・そういった状況下で助けを求めることに抵抗がある。</li> <li>・こういったセンシティブな話題に関して自己表現が苦手で、記述形式での回答に苦手意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いやなことをされたときの対処法を理解する。</li> <li>・プライベートゾーンの大切さを再確認し、着替えの時などに留意することを理解する。</li> <li>・人に助けを求めてもよいのだという意識を持ち、ロールプレイングに参加できる。</li> <li>・教員の支援を受けながら授業の振り返りをすることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行う。</li> <li>・問いかけを行い、知識の再確認を行う。</li> <li>・ロールプレイングの③において、積極的な声掛けを行うが、強制して委縮してしまわないように慎重に様子を把握する。</li> <li>・G の思考をまとめるときやロイロノートの打ち込み時などに机間指導を行い、振り返りの支援を行う。</li> </ul>
<p>H</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーンがどういったものなのかについては基本的に把握している。</li> <li>・教員の支援があると、授業に傾聴することが出来る。</li> <li>・記述に困難がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いやなことをされたときの対処法を理解する。</li> <li>・プライベートゾーンについて知ることが出来る。</li> <li>・今日の振り返りを、箇条書きでまとめることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業スライドを基に説明を行う。</li> <li>・ふりかえりテストはHの生徒の実態に応じて、回答しやすい形式にする。</li> <li>・H の思考をまとめるときやロイロノートの打ち込み時などに机間指導を行い、振り返りの支援を行う。</li> </ul>


5 場面の設定



令和7年6月27日

# こころとからだの授業


第一回 「自分の体を大切にしよう!」



## こころとからだの授業って?


みんなが社会に出たあとも、みんなの心と体の健康を守るためのお勉強をする授業です

プライベートゾーンって何だろう?  
大人になるってどういうこと?  
人を好きになるって何?  
SNSの正しい使い方  
いやなことをされたときどうしたらいいの?



### 今日のめあて

自分の体について つかいして、  
**自分の体を守る**  
**れんしゅう**をしよう!



- ① 自分の体について知ろう
- ② いやなことをされたときは…
- ③ 練習をしよう
- ④ ふりかえりテスト

- ① **自分の体について知ろう**
- ② いやなことをされたときは…
- ③ 練習をしよう
- ④ ふりかえりテスト

### ① 自分の体について知ろう

みんなの体にはどんな部分があるかな?



① 自分の体について知ろう

「体の部分の中でいらないもの」はあった？

→ない!

→全部大事!

いやなことはいやと言う!  
かけがえない  
自分の体を守りましょう

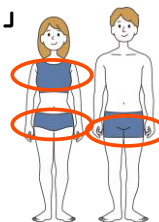


① 自分の体について知ろう

「体の中でとくに大事なところ」

おちんちん、おまた、おしり、胸

→プライベートゾーン



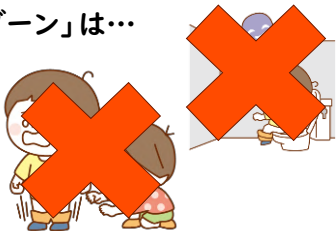
① 自分の体について知ろう

「プライベートゾーン」は…

①見ない!

②見せない!

③触らせない!



① 自分の体について知ろう

だから



プールの時のお着替えも

人に見せたり

人を見たりしない

仲がいい友達でも

プライベートゾーンをさわらない

プライベートゾーンについて

おやみに話さない

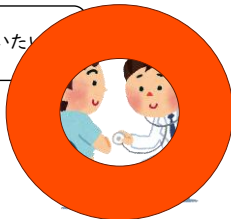


① 自分の体について知ろう

でも



なんだか、おねがいたい



① 自分の体について知ろう

② いやなことをされたときは…

③ 練習をしよう

④ ふりかえりテスト

② いやなことをされたときは…

①「やめて」「いや」と言う



② いやなことをされたときは…

①「やめて」「いや」と言う

②すぐにげる



② いやなことをされたときは…

①「やめて」「いや」と言う

②すぐにげる

③相だんする



① 自分の体について知ろう

② いやなことをされたときは…

③ 練習をしよう

④ ふりかえりテスト

③ 練習しよう

①「やめて」「いや」と言う

②すぐにげる

③相だんする



③ 練習しよう



③ 練習しよう

①「やめて」「いや」という

③ 練習しよう

声が出せないときや  
声を出すのが苦手な子は  
防はんブザーを使いましょう

③ 練習しよう

②すぐにげる

③ 練習しよう

黒い服を着ていました。  
背は僕より高かったです。  
男の人でした。  
家の近くで  
いやなことを  
されました。

③相だんする

信らいてできる人  
(おうちの人、先生、保健室の先生など)

③ 練習しよう

もしも いやなことされても…

**あなたはぜったいに悪くありません**

忘れないでね

③ 練習しよう

おやくそくのまとめ

プライベートゾーンは  
①見ない②見せない③触らせない

いやなことされたら  
①やめると言う②にげる③相だんする

- ① 自分の体について知ろう
- ② いやなことをされたときは…
- ③ 練習をしよう
- ④ **ふりかえりテスト**



## 高等部 包括的性教育の実践 学習指導案

日時：令和7年7月4日(金)

場所：高等部3年教室

対象者：高等部3年生徒

指導者：江頭優里

### 1 単元（題材）名

「お互いのこころの不調の対処法を知ろう」

### 2 本時の目標

- (1) 悩みは人それぞれであり、悩むことはおかしいことではないと気づく。
- (2) こころの不調のサインに気づく。
- (3) こころの不調のサインに気づいた時に自分でできる対処法、周りとできる対処法を考える。

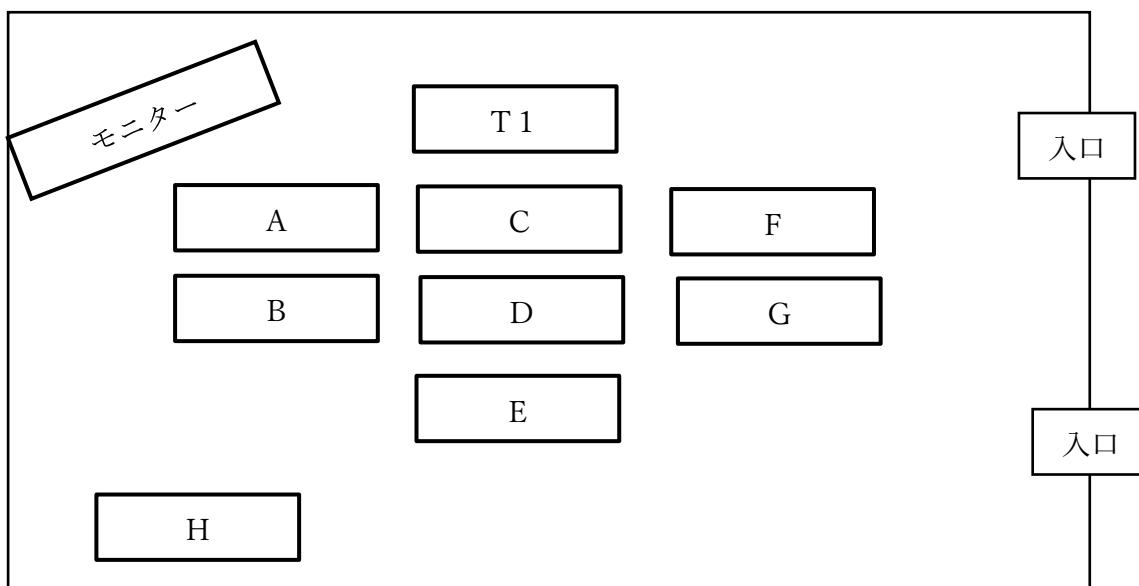
### 3 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考 ・ ICT 機器等
導入	2	1 はじめの挨拶をする。	○本時の目標の確認と、本時の授業の流れを生徒が理解できるように話す。	スライド
		めあて「こころの不調に対する自分でできる対処法を増やす」		
展開	10	2 こころの不調がどのような形で現れるのか考える。	○「こころの不調がどのような形で自分に現れるか」という設問を設ける。  ○必要に応じて教師の実体験を話すことで生徒が答えやすい雰囲気づくりを行い、また、近しい人間の経験談を聞くことで自分事として生徒が考えやすいように促す。  ○こころの不調についての話は性質上ネガティブなものになりがちだが、客観的に語るモデルを示すという意味合いで淡々と感情的にならない程度に語ることに留意する。	ロイロノート スライド
		5 3 2のこころの不調についての設問にどう答えたかクラス内で共有する。	○生徒の意見を否定せず、相互に共感しながら聞ける雰囲気をクラス全体に醸成する。	ロイロノート
	7	4 こころの不調が現れた時、自分はどう対処しているか振り返る。	○必要に応じて教師の実体験を話すことで生徒が答えやすい雰囲気づくりを行い、また、近しい人間の経験談を聞くことで自分事として生徒が考えやすいように促す。	ロイロノート スライド

資料9

15	5	4に対して周囲の人間(友人)が心の不調を訴えているとき自分がどう対処しているか振り返る。	○それぞれの考え方を尊重するように机間指導を行う。 ○振り返る内容がない、または対処法がわからない生徒に対しても否定せず、その場合はインターネット等の調べ学習を利用するように促す。	ロイロノート
	6	4、5のこころの不調への対処についての設問にどう答えたかクラス内で共有する。	○対処法に是非やよし悪しはないことを明示する。	ロイロノート
	7	こころの不調の対処法について自分でできることと周りの人ができること、頼ることの大切さについて学ぶ。	○生徒の意見を否定せず、相互に共感しながら聞ける雰囲気をクラス全体に醸成する。  ○スライドを提示しながら「心身の健康を守る権利が自分にも周囲にもあること」の相互理解を促す。  ○人との距離感について、「人に囲まれている方が安心する人」も「一人で静かに過ごしたい人」もいることを提示し、適切な距離感を持つことの大切さを伝える。	スライド
終末	3	8 振りかえりテストで復習を行う。	○生徒の実態に応じてA版(計5問)、B版(計3問)を作成する。	スライド テスト用紙
	5	9 本時で学んだこと、振り返りを自由に記述する。	○記述が難しい生徒のため、筆記での回答ではなく、ロイロノート上で実施する。	ロイロノート


5 場面の設定



令和7年7月4日


# こころとからだの授業

第二回 「お互いのこころの不調の対処法を知ろう」



## 今日のめあて

こころの不調に対する  
自分でできる  
対処法を増やそう



- ① こころの不調があらわれたとき  
ってどんなとき？
- ② こころの不調の対処法
- ③ 心身の健康を守る権利って？
- ④ ふりかえりテスト

- ① **こころの不調があらわれたとき  
ってどんなとき？**
- ② こころの不調の対処法
- ③ 心身の健康を守る権利って？
- ④ ふりかえりテスト

## みんなの日常



勉強

現場実習

しゅみ・遊び

そんな毎日のなかで「なやみ」もあると思います

もやもや…  
いらいら…  
そわそわ…

こころのサイン



こころの不調

先生がみんなと同じ高校三年生のころ

将来したいことが  
たくさんあって  
進路がきまらない…

筆者の顔写真

こころのサイン

何もしないのに涙が出る

イライラ

家族にきつくあたってしまう

**【ワーク①】**  
「こころの不調」がどんな「こころのサイン」としてあらわれる？

- ① こころの不調があらわれたときってどんなとき？
- ② **こころの不調の対処法**
- ③ 心身の健康を守る権利って？
- ④ ふりかえりテスト

「こころの不調」があるとき…

**【ワーク②】**  
「こころの不調」にどんな方法で対しよをしてるか振り返ってみよう。

**【ワーク③】**  
まわりの人が「こころの不調」を感じているとき自分にできることはなんだろう

- ① こころの不調があらわれたとき  
ってどんなとき？
- ② こころの不調の対処法
- ③ **心身の健康を守る権利って？**
- ④ ふりかえりテスト

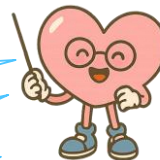
## 「心身の健康を守る権利」

心身…こころとからだのこと

いやなことはいやと言ってもいい

無理にがまんしなくてもいい

人に相談してもいい



## 「心身の健康を守る権利」

この権利は**誰にでもある**

自分にもあるけど、もちろんほかの人にもある

人それぞれの対処法がありました



## 「心身の健康を守る権利」

例えば…



みんなでわいわいする方が安心する人



一人でいる方が安心する人

## 「心身の健康を守る権利」

そんなとき

「一人でいる方が安心する人」に

「みんなでわいわいする方がいいよ!」と言った

「みんなでわいわいする方が安心する人」に

「一人でゆっくりしてね」と言うのは

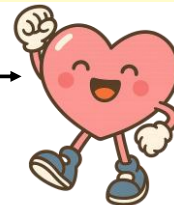
**この権利の侵害に  
なるかもしれません**



## 「心身の健康を守る権利」



適切な距離



- ① こころの不調があらわれたとき  
ってどんなとき?
- ② こころの不調の対処法
- ③ 心身の健康を守る権利って?
- ④ **ふりかえりテスト**



## 高等部 包括的性教育の実践 学習指導案

日時：令和7年10月3日(金)

場所：高等部3年教室

対象者：高等部3年生徒

指導者：江頭優里

### 1 単元（題材）名

「体と心の変化を知ろう」

### 2 本時の目標

- (1) 自分や友達に起こる体と心の変化について知り、個人差に気づく。
- (2) 性器を清潔に保つ方法を知り、誰にも見せない・触らせないといった基本的な自己保護の考え方を身につける。
- (3) 性的同意のポイントを理解し、相手の気持ちを尊重しながら自分の意思を伝えることの大切さを学ぶとともに、「大人になる」とは自分で考え責任を持って行動することだと気づく。

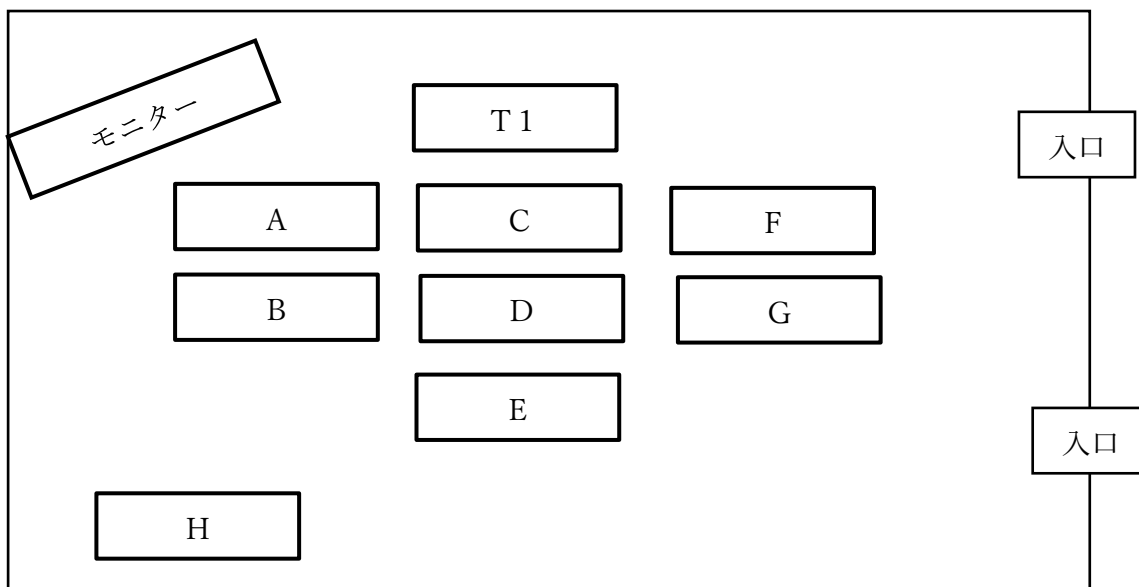
### 3 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考 ・ ICT 機器等
導入	5	1 はじめの挨拶をする。	○本時の目標の確認と、本時の授業の流れを生徒が理解できるように話す。	スライド
		めあて「体と心の変化を知ろう」		
展開	10	2 思春期の体・心の変化についてスライドを見ながら学ぶ ・体つきの変化（月経・精通など） ・心の変化（恋愛感情・多様な性のあり方）	○個人差を強調し、「おかしいことではない」と繰り返し安心感を与える。	ロイロノート スライド
	7	3 性器の健康を守る方法を学ぶ ・清潔にする習慣  ・プライベートゾーンのルール（見せない・さわらせない）の再確認 ・マスターベーションや性行為について	○文章の多いスライドになるため適宜生徒に問いかけを行う ○デリケートな内容なので、教師が落ち着いた説明する。  ○「やってはいけない」ではなく「してもしなくてもいい」というポジティブな伝え方を意識する。	スライド
	20	4 性的同意を考える。 ・「同意」とは何かを事例で確認 ・ワーク：「こんなときどうする？」①～④	○発表しやすいようにロイロノートなどICTを活用し、また自由記述と選択式	ロイロノート スライド

資料 11

		<ul style="list-style-type: none"> <li>発表と意見交換</li> </ul>	<p>の二パターンワークシートを作成する。</p> <p>○生徒の意見を否定せず、相互に共感しながら聞ける雰囲気クラス全体に醸成する</p>	
終末	3	8 振りかえりテストで復習を行う。	○生徒の実態に応じてA版(計5問)、B版(計3問)を作成する。	スライド ロイロノート
	5	9 本時で学んだこと、振り返りを自由に記述する。	○記述が難しい生徒のため、筆記での回答ではなく、ロイロノート上で実施する。	

5 場面の設定



令和7年10月3日


# こころとからだの授業

第三回  
「大人になることってなんだろう」



## 今日のめあて

体と心の変化を知ろう



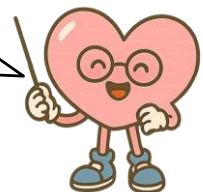
- ① 体はどう変わる?
- ② 性器の健康を守るには
- ③ 大人になるって?
- ④ ふりかえりテスト

- ① 体はどう変わる?
- ② 性器の健康を守るには
- ③ 同意を知ろう
- ④ ふりかえりテスト

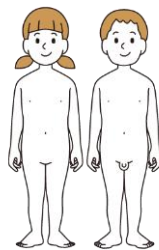
## 思春期の変化

★思春期って?

子供から大人になる時期のこと  
この時期には身体と心に  
いろんな変化があるよ

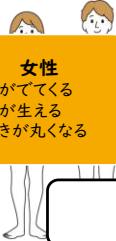


## 思春期の変化



子供の時、  
男女の体つきは  
性器以外違いはあまりない

### 思春期の変化



**女性**

- ・乳房がでてくる
- ・体毛が生える
- ・体つきが丸くなる

**男性**

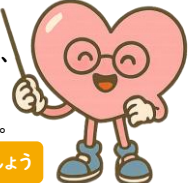
- ・のどぼけがでてくる
- ・体毛が生える
- ・ひげが生える
- ・声が低くなる
- ・体つきががっしりする

男女の体つきに違いが出てくる

### 思春期の変化

体の中でも変化が…

**女性**は**月経(生理)**  
**男性**は**精通**が始まる



月経にともなってPMS(月経前症候群)、月経困難症などが起こります。月経には痛みが軽い人もいれば、立ち上がれないくらいひどい人もいます。

ひどいときには病院に行きましょう


### 思春期の変化

体の中でも変化が…

**女性**は**月経(生理)**  
**男性**は**精通**が始まる

→ **ホルモンの影響で** やたらイライラしたり わけもなく涙が出ることもある

こころの不調を感じたら、第二回を思い出してみよう




おかしなことじゃない!

### 思春期の変化

思春期の心の変化には「恋」もあります

誰かを好きになって**恋人になりたい**、とか **結婚したい**と思う人もいれば **ながめてるだけでいい**、という人もいます

また、**異性を好きになる**人もいれば **同性を好きになる**人、**そもそも恋をしない**人もいます



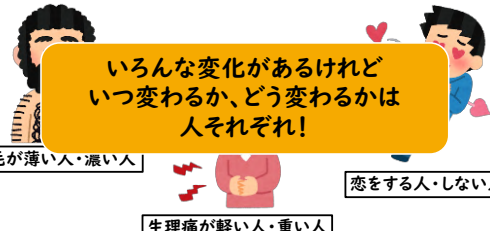
### 思春期の変化

いろんな変化があるけれど  
いつ変わるか、どう変わるかは  
人それぞれ!

体毛が薄い人・濃い人

恋をする人・しない人

生理痛が軽い人・重い人



- ① 体はどう変わる?
- ② **性器の健康を守るには**
- ③ 同意を知ろう
- ④ ふりかえりテスト

### 性器はとってもデリケート!

きれいにしておかないと病気になることもあります



お風呂に入るときは…?



- ・立てた泡で優しく洗う
- ・強くこする×
- ・爪が伸びてる×



逆に洗わないのも×!!  
水では落とすきれない汚れもあります



トイレのときは…?



ふくときは  
前から後ろにふきましょう  
逆にふくと、股の間に汚れがたまって  
しまいます



下着やナプキン  
について

あたりまえですが  
下着は毎日変えましょう!  
何日も同じ下着をつけるのは×



性器はいつも  
清潔(せいけつ)な  
状態にしましょう

生理の時はトイレに行くたびに  
ナプキンを変えましょう



### マスターベーションについて

こんなことありませんか?

- 好きな人のことを考えると性器がムズムズする
- はだかの写真を見るとそわそわしてしまったり落ち着かない  
などなど

→このまま放っておいてもいい

→マスターベーションをしたくなるかも

マスターベーションって?

### マスターベーションについて

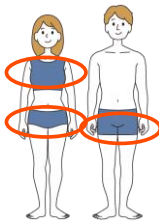
自分の性器など体をさわることによって気持ちよくなること

自分のからだを気持ちよくなることは  
自然なことではずかしくない  
だれでもすることのあるふつうのこと

でもこれは  
しても、しなくてもいいし  
必ずしないといけないわけでは  
ありません

第一回を思い出そう

性器をふくむプライベートゾーン



プライベートゾーンは  
①見ない  
②見せない  
③さわらない

マスターベーションについて

自分の性器など体をさわることで気持ちよくなること


性器は  
・だれにもみせないこと  
・清潔にすること だから…

・一人になれる場所ですること  
・爪を切って、手を洗うこと  
・性器は強い力でさわらない

このように  
自分の性(恋愛や子どもをつくることに関わること、  
性器など男女の体)に関する行為を**性行為**と言います。

マスターベーションは一人でする**性行為**ですが


恋人とプライベートゾーンをさわらうといった  
「**他人とする性行為**」もあります  
(口へのキスなど)



① 体はどう変わる?  
② 性器の健康を守るには  
③ **同意を知ろう**  
④ ふりかえりテスト

**同意、性的同意について**


同意って何だろう?  
⇒ **同じ意見**  
⇒ **相手と同じ考えだと言うこと**



★同意はいろんな場面で  
必要になる

**同意、性的同意について**

例えば…



今度遊ぶとき何する?公園に行く?

うーん、最近暑いから家でゲームするのは?

わかった!そうしよう!

はい!楽しみにしてるね!

**同意**

友人同士の会話

## 同意、性的同意について

じゃあこんな時は…?



恋人同士の二人の会話

今度キスしてもいい?

はずかしいからまだいやかも…

性的同意

そっか、ごめんね

ううん、聞いてくれてありがとう

## 同意、性的同意について

### ★性的同意のポイント

- ① 性的なことをするとき、「したい」「してもいい」を  
お互い自由に言える平等な立場であること
- ② 性的なことをするときには相手に任せず自分で決めること
- ③ 自分の意見を相手にしっかり伝えること

### 【こんなときどうする?①】

あなたには好きな人がいます。  
そんな好きな人に、「はだかを見せてほしい」とお願いをされました。はずかしくていやだけど、好きな人に  
きらわれたくありません。

- ① 好きな人にきらわれたくないのでお願いを聞く。
- ② はずかしいから、いやだと返す。
- ③ 友だちに相談してから返事をする。

### 【こんなときどうする?②】

あなたには恋人がいます。  
デート中手をつないだら、「やめてほしい」と言われて  
しまいました。

- ① ごめんね、と言ってやめる。
- ② 恋人なのにいやがるのはおかしいと怒る。
- ③ どうしてやめたいのか聞く。

### 【こんなときどうする?③】

好きな人とデート中、ハグをしたくなりました。  
まだ恋人じゃないので「ハグしてもいいか」聞くと  
好きな人はだまっただま何も言ってくれません。

- ① していいのかもう一度聞く。
- ② 「いいよ」と言われてないのでがまんする。
- ③ だまっているってことはしてもいいってことなので  
ハグする。

### 【こんなときどうする?④】

好きな人とデート中、「ハグしてもいいか」聞かれました。  
まだ恋人じゃないし周りにほかの人もたくさんいるので  
恥ずかしくてたくありません。

- ① 答えるのが難しいから黙っている。
- ② 恥ずかしいからしたくない、と言う。
- ③ ほかの場所ならいいよ、と言う。

【こんなときどうする?①】

あなたには好きな人がいます。  
 そんな好きな人に、「はだかを見せてほしい」とお願いをされました。  
 はずかしくていやだけど、好きな人にきらわれたくありません。  
 どうしたらいいでしょうか?

【こんなときどうする?①】

あなたには好きな人がいます。  
 そんな好きな人に、「はだかを見せてほしい」とお願いをされました。  
 はずかしくていやだけど、好きな人にきらわれたくありません。

~~①~~ 好きな人にきらわれたくないのをお願いを聞く。

② ずかしいから、いやだと返す。

③ だちに相だんしてから返事をする。



① 好きな人にきらわれたくないのをお願いを聞く。  
 →自分の気持ちを考えてくれない、自分を大事に  
 してくれない人のお願いを聞いてもいいのかな?  
**よくない!**

**NO**



② はずかしいから、いやだと返す。  
 →いやなことはいやなことと言おう!

③ 友だちに相だんしてから返事をする。  
 →悩んだときは**周りの人の意見を聞くのも◎**

【こんなときどうする?②】

あなたには恋人がいます。  
 デート中手をつないだら、「やめてほしい」と言われて  
 しまいました。

① めんね、と言ってやめる。

~~②~~ 恋人なのにならぬのはおかしいと怒る。

③ うしてやめたいのか聞く。

① ごめんね、と言ってやめる。  
 →相手の気持ちを考えていて◎

② 恋人なのにならぬのはおかしいと怒る。  
 →恋人だからって**性的同意を無視するのは  
 ぜったい×!**

③ どうしてやめたいのか聞く。  
 →納得できないとき、話し合いや相だんしてみる  
 のも◎、**相手の気持ちをきいてみよう**



【こんなときどうする?③】

好きな人とデート中、ハグをしたくなりました。  
 まだ恋人じゃないので「ハグしてもいいか」聞くと  
 好きな人はだまって何も言ってくれません。

① ていいのかももう一度聞く。


② いいよ」と言われてないのでがまんする。

~~③~~ 突ってるってことはしてもいいってことなのでハグする。

① していいのかももう一度聞く。  
 ➔もしかしたら、なんて返事していいか  
 考えてみるのかも、もう一度聞いてみるのは◎  
 ただしつこく聞くのは×!

② 「いいよ」と言われてないのがまんする。  
 ➔相手の気持ちを考えていて◎

③ 笑ってるってことはしてもいいってことなのでハグする。  
 ➔×!沈黙はOKのサインではありません!



**【こんなときどうする?④】**  
 好きな人とデート中、「ハグしてもいいか」聞かれました。  
 まだ恋人じゃない周りにほかの人もたくさんいるので  
 恥ずかしくてしたくありません。

✗ 答えるのが難しいから黙っている。


② 恥ずかしいからしたくない、と言う。

③ ほかの場所ならいいよ、と言う。

① 答えるのが難しいから黙っている。  
 ➔自分の気持ちを伝えないと、相手もわかりません。  
 したい、したくないはしっかり伝えましょう。

② 恥ずかしいからしたくない、と言う。

③ ほかの場所ならいいよ、と言う。  
 ➔理由もしっかり言っていますね、◎



**同意、性的同意について**

★性的同意のポイント


① 性的なことをするときは、「したい」「してもいい」を  
 お互い自由に言える平等な立場であること

② 性的なことをすることは相手に任  
 ③ 自分の意見を相手にしっかり伝

いやがることを  
 させない・しない  
 が大事

**今日のまとめ**

- ・体も心も成長するのは自然なことでのその変り方は人それぞれ
- ・性器は優しく清けつに扱い、簡単に人に見せたりしないこと
- ・嫌がることはしない・させないが大事



① 体はどう変わる?

② 性器の健康を守るには

③ 同意を知ろう

④ ふりかえりテスト



## 高等部 包括的性教育の実践 学習指導案

日時：令和7年10月10日(金)

場所：高等部3年教室

対象者：高等部3年生徒

指導者：江頭優里

### 1 単元（題材）名

「SNS や人との関わりについて」

### 2 本時の目標

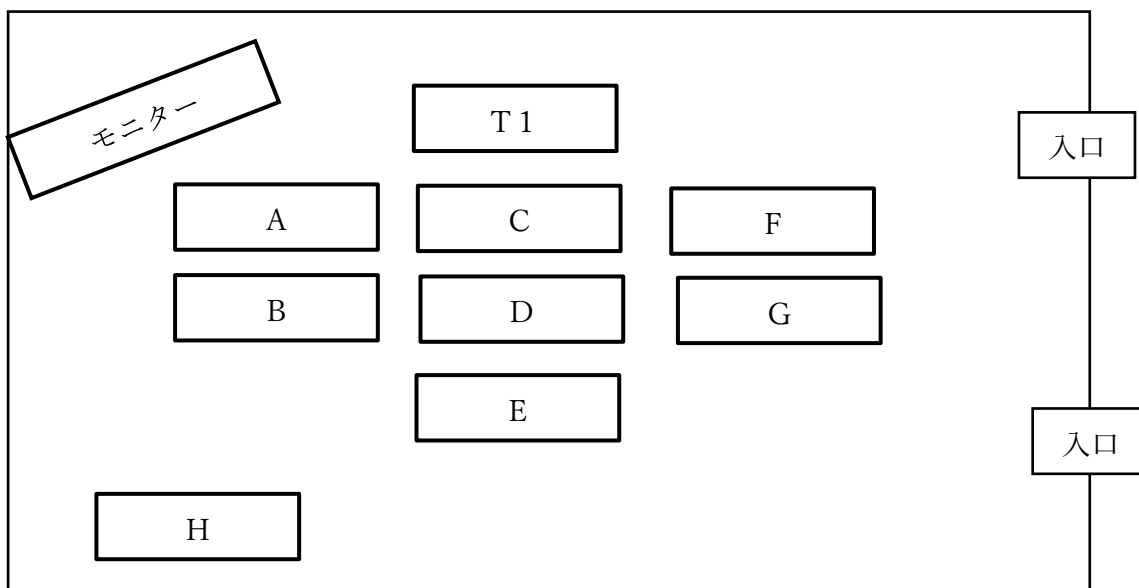
- (1) SNS を安全に利用するために、危険やトラブルの種類（なりすまし・リベンジポルノ・うその情報など）を理解する。
- (2) SNS 上や人間関係の中で、いやなことには「イヤ」と言い、自分の体と心を守る行動を身につける。
- (3) 友人・恋人関係など身近な場面でも、相手の気持ちを尊重し、暴力や支配（デートDV）を許さない姿勢を育てる。

### 3 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考 ・ ICT 機器等
導入	5	1 はじめの挨拶をする。	○本時の目標の確認と、本時の授業の流れを生徒が理解できるように話す。	スライド
		2 めあての確認をする。		
		めあて「SNS や人との関わりの中で、自分と相手を守る方法を学ぼう」		
展開	5	3 SNS とは何か、その種類や目的を調べ学習で確認する。	○SNS 利用の経験を軽く共有（「どんな SNS を使ってる？」） ○生徒が発言しやすい雰囲気を作る。	ロイロノート スライド
	5	4 SNS のメリット・デメリットをワークシートで整理し、教室内で共有する。	・「SNS は悪いものではなく、安全に使う工夫が大切」と肯定的に伝える。 ・生徒が普段使っている SNS を挙げて共有しやすくする。	
	7	5 SNS トラブル例をワークシートで整理し、教室内で共有する。（写真の拡散、なりすまし、リベンジポルノ、詐欺など）	・「トラブルの内容」よりも「どんな気持ちになるか」「どうすれば防げるか」に焦点を当てる。 ・表現はソフトにし、性的な描写や恐怖感をあおらない。 ・「誰にでも起こりうる問題」であると伝える。	

	7	6 対策について調べ学習を通して考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒が自分で見つける」体験を重視し、教師の説明に偏らないようにする。</li> <li>・「うそを信じる＝悪い」ではなく、「だれでもだまされることがある」と安心感を与える。</li> </ul>	
	3	7 情報の精査について一例を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分で判断がむずかしいときは信頼できる大人に聞く」ことを繰り返し伝える。</li> </ul>	
	5	8 第一回を思い出し、「知らない人」だけでなく「友だち・恋人」によるいやなこともあると確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「加害者・被害者」として特定の人を連想させないように話す。</li> <li>・恋愛関係や性に関する話題では、生徒の笑いを誘う雰囲気避け、落ち着いて扱う。</li> </ul>	
	5	9 「あなたは悪くない」「イヤと言っていていい」という意思表示の大切さを再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「イヤと言っても大丈夫」という意識を教室全体で共有する。</li> </ul>	
終末	3	10 振りかえりテストで復習を行う。	○生徒の実態に応じて A 版(計 5 問)、B 版(計 3 問)を作成する。	ロイロノート スライド
	5	11 本時で学んだこと、振り返りを自由に記述する。	○記述が難しい生徒のため、筆記での回答ではなく、ロイロノート上で実施する。	

5 場面の設定



令和7年10月10日


# こころとからだの授業

第四回  
「SNSや人との関わりについて」



## 今日のめあて

SNSや人との関わりの中で、  
**自分と相手を守る方法を**  
学ぼう。

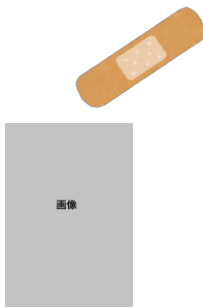


- ① SNSのトラブルを防ごう
- ② いやなことをされた時
- ③ ふりかえりテスト

- ① **SNSのトラブルを防ごう**
- ② いやなことをされた時
- ③ ふりかえりテスト

[ニュースリンク1](#)


[ニュースリンク2](#)



【調べてみよう】  
SNS(えすえぬえす)ってなんだろう？  
どんなものがあるのかな？

① SNSとは…


② たとえば…



**【調べてみよう】**  
**SNSのメリットとデメリットはなんだろう？**

①メリット(いいところ)は？

②デメリット(わるいところ)は？



**SNSって？**

インターネットを通して人々が情報を共有し、コミュニケーションを取るためのアプリやサイトなど



ライン  
ティックトック  
エックス(ツイッター)  
ユーチューブ

**SNSって？**

みんながしらべてくれたようにSNSにはメリットがたくさんあります




だからこそ  
SNSを楽しく安全に使うために  
デメリットがあることも  
理解して

トラブルに合わないようにしましょう

**【調べて考えてみよう】**  
**SNSにはどんなトラブル(危険)があるかな？**


①SNSにはこんなトラブルが…

②👂このようなトラブルに合わないためにはどうしたらいいかな？



**SNSでだれでも見れるようにのせてしまうと…**  
スクリーンショットなどで保存され  
インターネットに一生残ってしまいます!!

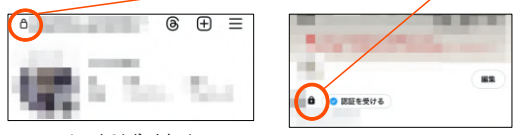
◎他の人に画像を保存されるとどうなる？  
いたずらや犯罪につかわれたり  
なりすましにつかわれたり  
拡散(写真をばらまくこと)されたり…  
**いやなことにかってに自分の写真を  
使われてしまうかもしれません**



**こうするとどうかな？**

①LINEなど知ってる人とだけつながっているSNSを利用する  
②かぎアカウントで投稿(とうこう)する

かぎのマーク  
(だれでも見れなくなる)




インスタのかぎアカウント  
エックスのかぎアカウント

**SNSでは犯罪も増えています!**

- ・詐欺
- ・なりすまし
- ・ネットストーキング  
→ネット上で個人情報を探ったり、行動を監視したりすること
- ・リベンジボルノ  
→けんかをしたり、罵詈雑言をネットでするしくネットなどで...

こういう犯罪に巻き込まれないためにも**常に気を付けておかないといけない**ですね




「ドロボウするとつめが赤くなる」といううわさをインターネットで見ました。次の日町なかで爪が赤い人を見ました。



**もちろんこのうわさは、ウソ…!**

いまのインターネットにはその情報があふれていて、「あ、あのひと爪が赤いからドロボウしたんだな」としんじてしまうひともいます

**情報はしっかり見きわめましょう**




でも「気を付ける」「情報を見きわめる」って難しい…

こうするのはどうかな?

- ◎インターネットだけではなく本など別の方法でも調べてみる
- ◎学校にいる間は先生に聞く
- ◎おうちの人に聞く
- ◎ちょっとでも「ん?」と思った情報は疑うようにする


「これが正解! しないといけない!」  
というわけではないけど  
やらないよりはいいかもしれませんね



でもやっぱりSNSは**便利だし、なによりたのしい**ですね!  
先生もSNSを通じてできたお友達がたくさんいます

ネットは怖いものだ、使っちゃダメというわけではありません

**SNSを理解して安全に楽しみましょう!**



- ① SNSのトラブルを防ごう
- ② **いやなことをされた時**
- ③ ふりかえりテスト

## いやなことをされた時

第一回を思い出そう

いやなことをされたときは…

- ①「やめて」「いや」と言う
- ②すぐにげる
- ③相だんする



練習したよね



## いやなことをされた時

ここでいう「いやなこと」は  
プライベートゾーンを触られるなどの性的な嫌がらせのことです

第一回は不審者をイメージしたけど

もしも**友達・知り合い・恋人**に  
いやなことをされた時も  
同じように「いやです」と  
相手に伝えましょう



## いやなことをされた時

デートDVについて…

**恋人だからという理由でぼう力や支配をすること**

「恋人だから」、  
「私(僕)のこと好きなんでしょ?」は  
ぼう力していい理由にはなりません

もしされたら、家族や警察など  
信頼できる人に相談しましょう



## いやなことをされた時

デートDVについて…

「熊本市 デートDV」と検索すると  
デートDVについて説明している  
わかりやすい動画があります

すこし検索してみてください。



## いやなことをされた時

でも…

仲良しの友達にいやなことをされたときは

- ・チクるみたいでだれにも相談できない
- ・信じてもらえないかもしれない
- ・断ったらきらわれてしまうかも…

って思うかもしれませんが



考えてみよう

**かけがえのない自分の体や心**に対して、  
どんなに仲いい友達でもいやなこと  
していいわけがない

勇気

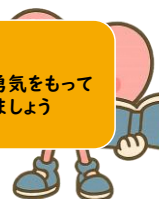
「あな

きよ

責めた

つじや

友だちや恋人だとしても  
いやなことをされたときはいやと言う勇気をもって  
かけがえのない自分の体を守りましょう



今日のまとめ

- ・SNSを使うときはきけんがあることを理かいて安全に楽しむ
- ・恋人や友達でもいやなことをされたらきよひしてもいい



- ① SNSのトラブルを防ごう
- ② いやなことをされた時
- ③ ふりかえりテスト

こころとからだの授業

次回が最後!第五回  
「みんなちがっていい」



## 高等部 包括的性教育の実践 学習指導案

日時：令和7年10月31日(金)

場所：高等部3年教室

対象者：高等部3年生徒

指導者：江頭優里

### 1 単元（題材）名

「みんなちがってみんないい ～自分らしさと多様性を考えよう～」

### 2 本時の目標

- (1) 絵本や身近な人の例から「ちがひ」について考え、自分と他者のちがひに気づくことができる。
- (2) 社会にあるさまざまなちがひ（性別・恋愛・年齢・文化・考え方など）を知り、多様性を肯定的にとらえることができる。
- (3) 自分のよさや「自分らしさ」を見つけ、前向きに表現することができる。
- (4) 「みんなが自分らしく生きられる社会」を考え、他者を尊重する態度をもつことができる。

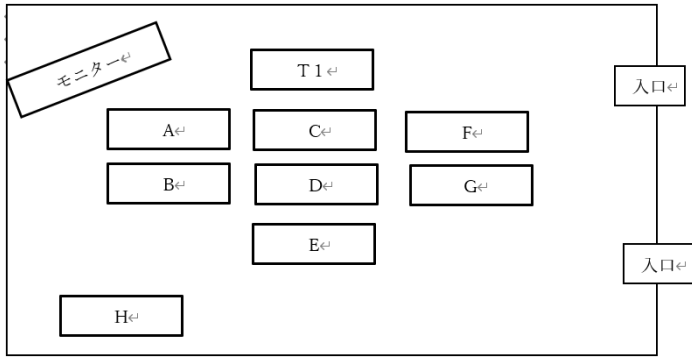
### 3 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	備考 ・ ICT 機器等
導入	1	1 はじめの挨拶をする。		スライド
	2	2 インフルエンサー「●●さん」のポリシーをしり、今回の授業への関心を深める	○穏やかにテンポよく導入し、発言しやすい空気をつくる。 ○楽曲や動画が流れるため一言「音が出るよ」など、注意喚起を行う	
	1	3 めあての確認をする。	○本時の目標の確認と、本時の授業の流れを生徒が理解できるように話す。	
		<p>めあて「いろいろな人がいることを知って、 自分も相手も大切にできる関係を考えよう。」</p>		
展開	5	3 スライドを見ながら、体の性・年齢・国籍・宗教・恋愛・心の性など、社会にある多様な「ちがひ」を見つける。	○教員を比較対象とすることで、身近なこととして生徒が考えることが出来るようにする。 ○生徒の関心があるような人物を選び、都度生徒に話を振ることで授業への関心が途切れることが無いように注視する。	ロイロノート スライド
	5	4 LGBTQ+の人々（○○さん、××さん、△△さんなど）を知り、「それぞれの自分らしさ」を考える。	○恋愛対象については、生徒間においても非常にセンシティブであるため、慎重、かつ簡潔に紹介を行う ○アセクシャル(恋愛をしない人)もいることも紹介する	
	3	5 「どんな人も生き方がちがって	○「ちがう＝悪い」ではなく「ちがう＝	

		<p>いい」「ちがいはらしさである」と感じる。</p>	<p>その人らしい」と自然に感じ取れるように語る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「特別な人」ではなく「みんなの中にあるちがい」として話す。</li> <li>○もしも笑いや偏見が出た場合は、肯定的な言い換えで安心感を保つ。</li> <li>○ジェンダーについても紹介を行い、社会に内在するマイクロアグレッションについての理解も促す。</li> </ul>		
20	6	<p>「自分らしさ・自分のよさシート」を使って、自分を色で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートの周りに「得意なこと」「性格」「褒められたこと」「好きなこと」を書く。</li> <li>・できたらクラスで見せ合い、友だちのよさにも気づく。</li> <li>・「自分をほめるのは悪いことではない」と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師の記入例を紹介し、書き方や「自分のほめられたこと」を紹介することは悪くないことを確認する。</li> <li>○生徒の実態に応じてA版、B版を作成する。</li> <li>○ワークは完成後に全体で共有し、安心感を重視。</li> <li>○活動を通して自己肯定感を高められるようにする。</li> </ul>		
終末	3	7	<p>冒頭でも紹介された「○○さん」の今の状況を確認し、授業を通して自分らしさを我慢することはよくないこと、互いの違いを認め合うことでより優しい社会になる可能性が高くなることを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分らしさ」を無理やり出せ、ということではなく、我慢はよくないという立場で紹介する。</li> <li>○みんな違ってみんないい、という考えを紹介する。</li> </ul>	ロイロノート スライド
	3	8	<p>絵本「ふたりのももたろう」のあらすじを知り、宿題「かんがえてみよう」で本授業を経て自身の考える多様性の認め合いについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全編の紹介は時間がかかるため、ある程度省略し、かつ生徒が登場人物の関係性を理解できるよう朗読を行う。</li> </ul>	
	2	9	<p>振りかえりテストで復習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の実態に応じてA版(計5問)、B版(計3問)を作成する。</li> </ul>	
	5	10	<p>本時で学んだこと、振り返りを自由に記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○記述が難しい生徒のため、筆記での回答ではなく、ロイロノート上で実施する。</li> </ul>	

## 5 場面の設定

資料 15



令和7年10月31日

# こころとからだの授業

第5回  
「みんなちがってみんないい」






授業を始める前に…

📺この曲、聞いたことがある？

インフルエンサーの写真

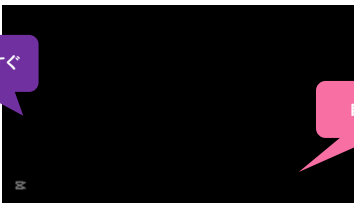
ユーチューブやティックトックで  
活やく中  
大人気インフルエンサー  
〇〇さん



📺〇〇さんのポリシー(大事にしていること)

好きにまっすぐ


自分でOK



自分らしく生きることを大事にしているそうです

## 今日のめあて

いろんな人がいることを知って、  
**自分も相手も大切にできる**  
関係を考えよう。



- ①社会にはどんな「ちがい」があるんだろう
- ②自分らしさ・自分の良さを知ろう
- ③ふりかえりテスト

- ①**社会にはどんな「ちがい」があるんだろう**
- ②自分らしさ・自分の良さを知ろう
- ③ふりかえりテスト

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

筆者の写真

- ・女性
- ・20代
- ・日本人
- ・172cm

江頭先生

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

筆者の写真

- ・女性
- ・20代
- ・日本人
- ・172cm

江頭先生

芸能人の写真

- ・男性

体の性別のちがい

先生の好きな俳優さん  
〇〇さん

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

筆者の写真

- ・女性
- ・20代
- ・日本人
- ・172cm

江頭先生

芸能人の写真

- ・70代

年れいのちがい

先生と同じ誕生日  
〇〇さん

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

筆者の写真

- ・女性
- ・20代
- ・日本人
- ・172cm

江頭先生

芸能人の写真

- ・アメリカ人

出身(国籍)のちがい

映画などに出演  
〇〇さん

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

筆者の写真

- ・女性
- ・20代
- ・日本人
- ・172cm

江頭先生

芸能人の写真

- ・150cm

体つきのちがい


ドラマなどに出演  
〇〇さん

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

他にも…先生は「仏教」を信じる「仏教徒」

〇〇さん  
「キリスト教」を信じる「キリスト教徒」




宗教のちがい



社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

他にも…



恋愛対象のちがい

 芸能人の写真	 芸能人の写真	 芸能人の写真
バンドドラム担当 ○○さん 女性が好きな女性 ⇒レズビアン	インフルエンサー兼モデル ○○さん 男性が好きな男性 ⇒ゲイ	芸人 ○○さん 女性も男性も好き ⇒バイセクシュアル

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

他にも…

心の性別のちがい

 芸能人の写真	 芸能人の写真
元サッカー選手 ○○さん 体は女性、心は男性	タレント ○○さん 体は男性、心は女性

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう


出身(国籍)のちがい	体つきのちがい
宗教のちがい	心の性別のちがい
恋愛対象のちがい	得意・不得意のちがい
趣味のちがい	社会には「ちがい」が いっぱいある＝「多様性」
文系・理系のちがい	

社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

社会には「ちがい」がいっぱいある＝「多様性」

「ちがい」は悪いことではない

「ちがい」は「らしさ」



社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

また、  
 「男なんだから泣くな!」  
 「料理できるなんて女子力高いね」

など社会が考える「男らしさ」「女らしさ」があります ⇒ジェンダー

この考え方が絶対に悪い!というわけではないけど、  
 人に押し付けるのはあまりよくないと先生は思います

①社会にはどんな「ちがい」があるんだろう

②自分らしさ・自分の良さを知ろう

③ふりかえりテスト

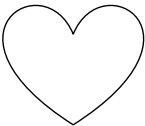
**自分らしさ・自分の良さを知ろう**

今一度、自分らしさや自分の良さについて考えてみましょう

そしてそれをクラスで共有してみましょう



**【自分らしさ・自分の良さシート】名前**



自分を色であらわすと?  
ハートに色をぬろう

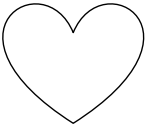
私の得意なことは…

私の好きなこと、ものは…

自分の性格は…

最近褒められたことは…

**【じぶんらしさ・じぶんのよさシート】なまえ( )**



じぶんをいろであらわすと?  
はーとにいろをぬろう

わたしのとくいなことは…

わたしのすきなこと、ものは…

わたしのせいはいか…

さいきんほめられたことは…

**【自分らしさ・自分の良さシート】名前(江頭優里)**



自分を色であらわすと?  
ハートに色をぬろう

私の得意なことは…  
・絵をかくこと  
・早口言葉をいうこと

私の好きなこと、ものは…  
・動物  
・フリフリ、キラキラしたもの

自分の性格は…  
・負けず嫌い  
・がんばりや・さみしがりや

最近褒められたことは…  
・背が高くてすてきと言われた  
・レポートが読みやすいと言われた

**最後に**

インフルエンサーの写真

田舎暮らしをしていたり、少し太っていたからコンプレックスがたくさんあった

変な人と思われるのが嫌で自分を隠して生きていた

自分のことが嫌いだった

**最後に**

インフルエンサーの写真

でも今は好きにまっすぐ

自分らしさが大好き

今がとてものしい

★自分らしさを出すって勇気が要るときもある  
➡無理に出すんじゃなく我慢はしないことが大事

**最後に**

インフルエンサーの写真

また〇〇さんは  
自分らしさも他の人の自分らしさも  
どっちも大切にしたい  
と言っています。


**最後に**

「ちがいはたくさんあ  
り、もしかしたら、自分の好  
きな人もいるかもし

**みんなちがって  
みんないい**


無理にその人に合わせる必要はありません

でも「そういう人もいいよね」と認め合えれば  
もっと優しい世界になるかもしれませんね



**今日のまとめ**

- ・「ちがいはその人「らしさ」
- ・「自分らしさ」を好きでいることも、「自まん」することも悪いことじゃない
- ・「ちがいは」や「自分らしさ」を認め合う、みんな違ってみんないい



①社会にはどんな「ちがいは」があるんだろう

②自分らしさ・自分の良さを知ろう

**③ふりかえりテスト**

**朗読を聞いてどうしたらいいか考えてみよう**

ふたりのももたろう



木戸 優起 (著)、キタハラケンタ (イラスト)、2021、『ふたりのももたろう』ドリームインキュベータ

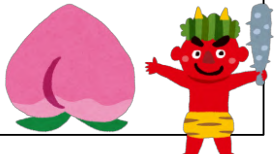
**朗読を聞いてどうしたらいいか考えてみよう**

「ふたりのももたろう」あらすじ

おばあさんが拾った後、実はもう一つ桃が流れてきていた！  
気付かれなかったもう一つの桃はなんと鬼ヶ島に流れ着いて…

人間に育てられたももたろうと  
鬼に育てられたももたろう

ふたりのももたろうのお話…



朗読を聞いてどうしたらいいか考えてみよう

絵本の画像

朗読を聞いてどうしたらいいか考えてみよう

絵本の画像


朗読を聞いてどうしたらいいか考えてみよう


絵本の画像

朗読を聞いてどうしたらいいか考えてみよう

絵本の画像


**【宿題】**  
ここに入るセリフをかんがえてみよう

 おにはわるいやつ! たいじしないといけない!  
というもうひとりの ももたろうと なかよくするには  
なんと いえばいいでしょうか



## こころとからだの授業

ありがとうございました!  
次は第一回~第五回までの  
まとめテストをするので  
復習しておいてね!



2025.XX.XX

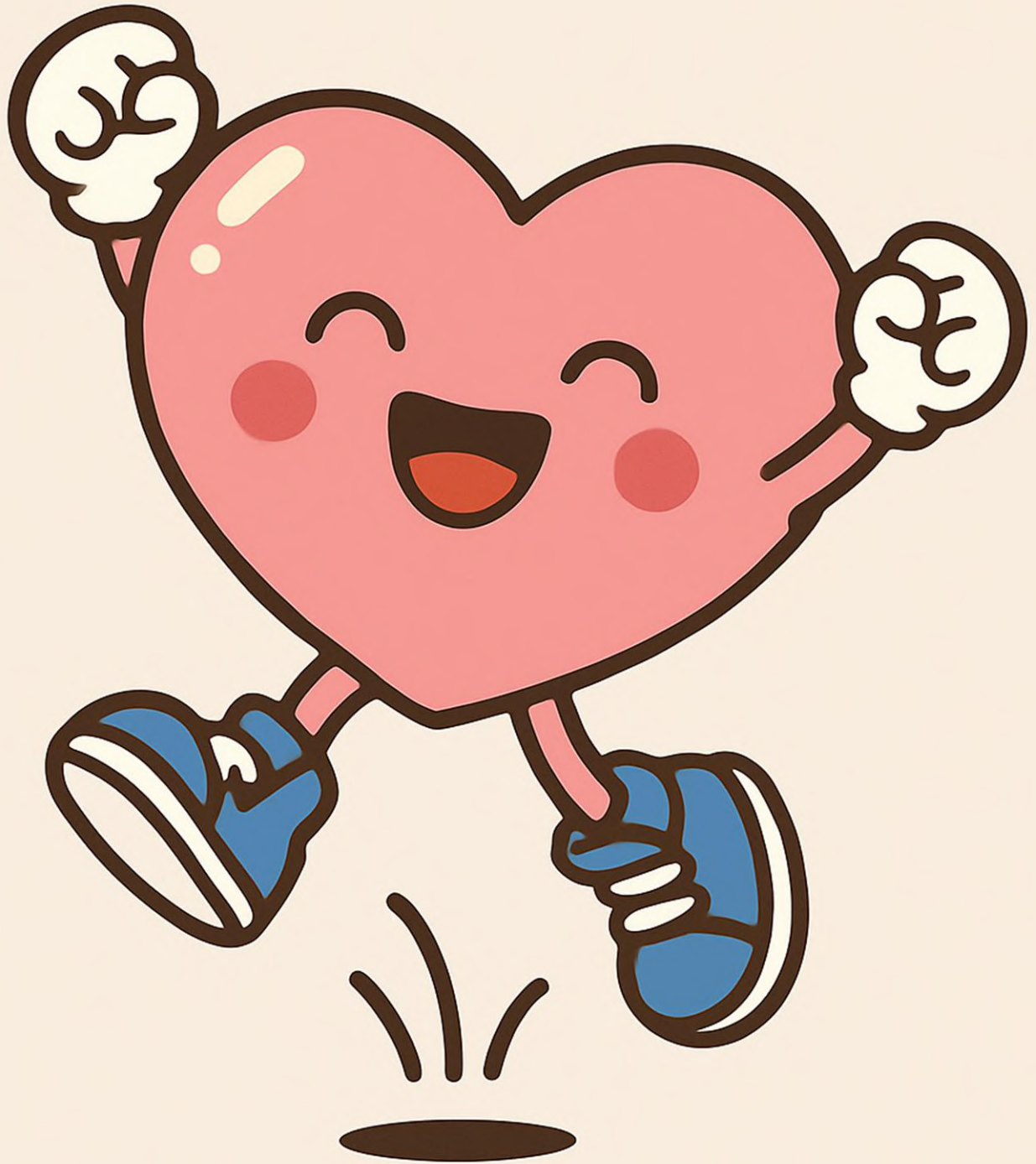
今日のふりかえり(名前)

)

今日の授業で考えたこと、感じたことを自由に書きましょう。

A large, empty rounded rectangular box with a black border, intended for writing the student's reflection on the lesson.

# こころとからだのノート



なまえ  
名前

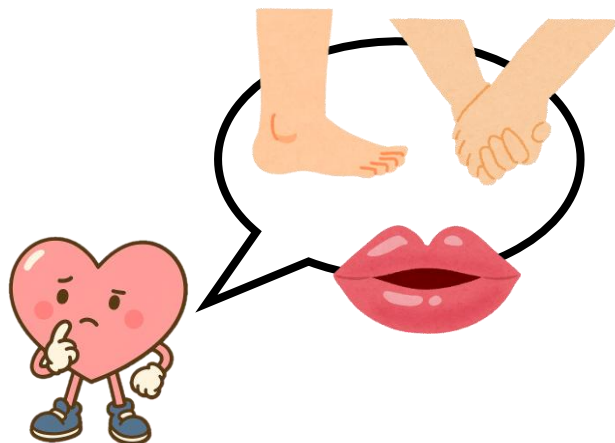
# こころとからだの授業①「自分の体を大切にしよう」

Q. みんなの <sup>からだ</sup> 体にはどんな <sup>ぶぶん</sup> 部分があるかな？

A. <sup>て</sup> 手、<sup>あし</sup> 足、<sup>くち</sup> 口、<sup>め</sup> 目、<sup>はな</sup> 鼻…たくさんあります

Q. じゃあ、この <sup>ぶぶん</sup> 部分の <sup>なか</sup> 中でいらないものはあった？

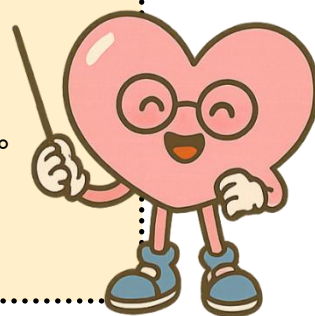
A. ありません



そのとおり！

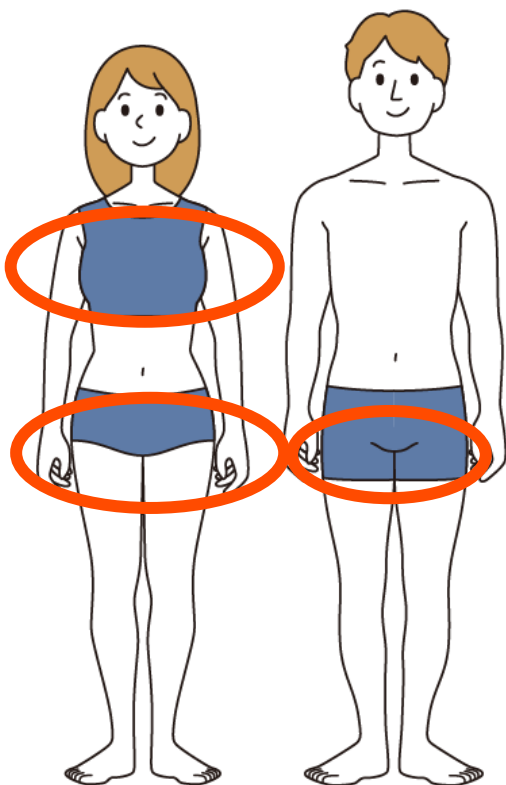
<sup>からだ</sup> 体 <sup>なか</sup> の中でいらない <sup>ぶぶん</sup> 部分はありません。 <sup>ぜんぶたいせつ</sup> 全部大切です。

<sup>じぶん</sup> かけがえのない <sup>からだ</sup> 自分の <sup>まも</sup> 体を守りましょう。



<sup>なか</sup> その <sup>とく</sup> 中でも <sup>だいじ</sup> 特に大事！

## プライベートゾーンについて



<sup>からだ</sup> 体 <sup>なか</sup> の中でも <sup>とく</sup> 特に <sup>だいじ</sup> 大事なところ、

たとえばおちんちんや、おまた、おしり、<sup>むね</sup> 胸などは

「<sup>プライベートゾーン</sup> プライベートゾーン」といいます。

<sup>プライベートゾーン</sup> プライベートゾーンはむやみに人にさわらせたり、

さわるところではありません。また、<sup>み</sup> 見せたり、

<sup>み</sup> 見せられたりするところでもありません。

だから <sup>みずぎ</sup> 水着 <sup>き</sup> を着るときもその <sup>ぶぶん</sup> 部分は <sup>かく</sup> 隠れるようになっているのです。

そんなプライベートゾーンだから、お約束があります。それは…

**①見ない! ②見せない! ③触らせない!**

たと ちゅうい  
例えばこんなことに注意しましょう。



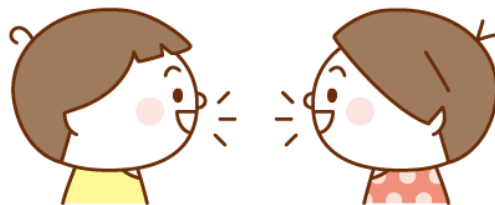
★お友達のズボンを下げるなどの  
いたずらはしてはいけません。



★人のトイレをのぞいてはいけません。



★プールの時のお着替えも  
人に見せたり、人を見たりしない  
ようにしましょう。



★どんなに仲が良いお友達でも  
プライベートゾーンを触らない、  
プライベートゾーンについて  
むやみに話さない。

でも、プライベートゾーンがなんだか、痛い!かゆい!など変な感じがしたとき

**お医者さんには見せても大丈夫です。**

見てもらわないと治らないからね。



プライベートゾーンをむりやり触られるといった

いやなことをされたら…

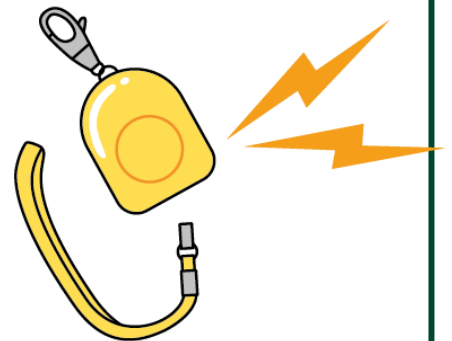
Q. 大事なプライベートゾーンに、もしもいやなことをされたら  
どうしたらいいんだろう…



A. とっても怖いし、不安だよね。次の方法で対処しましょう。

①「やめて!」「いや!」と言う

大きな声で、「それはいやなことです」と伝えましょう。  
大きな声が出せないときは防犯ブザーを使ったり、  
何かを叩いて大きな音を出しましょう。



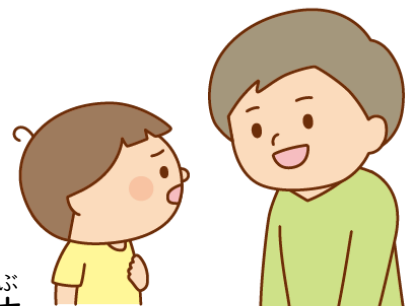
②すぐに逃げる

いやなことをされた!と思ったらすぐに逃げましょう。  
逃げる時は人通りの多いところに逃げましょう。



③相だんする

叫んだり、逃げられなかったりすることもあります。  
そんな時は信頼できる人に後から相だんして  
みましょう。ゆっくり、無理せずお話してくれば大丈夫。



③相談するでは、「どんな人だったか、どこで何をされたか」伝えられると  
良いですね。普段から練習しておきましょう。

最後に…もしもいやなことをされても

**あなたはぜったいに悪くありません!**

悪いのはいやなことした人です。それは変わりません。忘れないでね。

## まとめ

★プライベートゾーンは

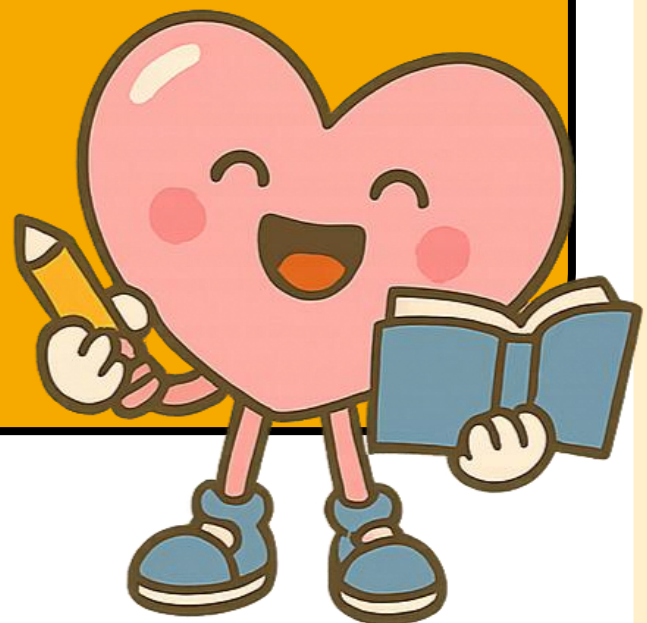
①見ない、②見せない、③触らせない

★いやなことをされたら

①「やめて」「いや」と言う

②すぐ逃げる

③相談する



自分のかけがえのない体を守るために  
ときどき振り返りましょう。

# じゆぎょう こころとからだの授業②「たがお互いのこころのふちよう たいしよほう不調の対処法を知ろう」

まいにち毎日いろいろなことがお起こります。

べんきよう勉強したり…あそ遊んだり…。そつぎよう卒業したら仕事しごとをしたり…。

そんな中で「なか なや悩み」や「ふ あん不安」から「ふちようこころの不調」はかなら必ずあらわ現れます。



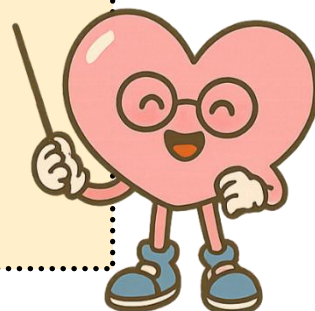
Q. かなもやもやしたり、おこ悲しくなったり、怒ってしまうのはいけないこと？

A. いいけないことではありません。

「ふちようこころの不調」を感じたとき時にあらわ現れる

「さいんこころのサイン」や

「たいしよほう対処法」を知っておきましょう。



## さいんこころのサインについて

なや悩んだり、ふ あん不安なことがあるときに

「ふちようこころの不調」があらわ現れます。

それをし知らせる「さいんこころのサイン」もあるのです。

「ふちようこころの不調」も「さいんこころのサイン」も

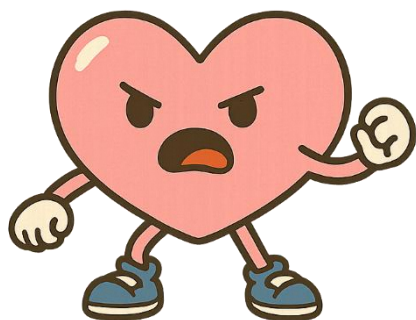
ひと人それぞれです。

たと例えば…

・なに何もしていないのになみだ涙がで出てくる

・かぞく家族にあたってしまう

あなたの「さいんこころのサイン」はどんなものかな？



「<sup>さいん</sup>こころのサイン」が<sup>あらわ</sup>現れた時、<sup>とき</sup>そのまま<sup>がまん</sup>我慢するのは<sup>しんしん</sup>心身(こころとからだの<sup>けんこう</sup>健康)にとってよくありません。かといって「<sup>はっさん</sup>ストレス発散したいから<sup>もの</sup>物を<sup>こわす</sup>壊す!」なんて<sup>たいしよほう</sup>対処法は<sup>まわ</sup>周りの<sup>ひと</sup>の人に<sup>めいわく</sup>迷惑をかけてしまいますよね?

みなさんには「<sup>しんしん</sup>心身の<sup>けんこう</sup>健康を守る<sup>まも</sup>権利」があります。これは<sup>も</sup>だれでも<sup>けんり</sup>持っている<sup>しゅちよう</sup>主張が<sup>けんり</sup>できる権利です。だから…

## 自分と相手の権利を守りながら心身の健康に気を配ることが大切です。

この<sup>けんり</sup>権利を<sup>ただ</sup>正しく<sup>つか</sup>使えるように、<sup>じぶん</sup>周りを<sup>たいしよほう</sup>頼りながら<sup>かんが</sup>自分なりの<sup>かんが</sup>対象法を<sup>かんが</sup>考えておく<sup>よ</sup>よいですね。

### たとえ



★<sup>す</sup>好きなものを<sup>た</sup>たくさん<sup>た</sup>食べる。



★<sup>おぶろ</sup>ゆっくりお風呂に<sup>はい</sup>入って<sup>なが</sup>長く<sup>すいみん</sup>睡眠をとる。



また、<sup>なか</sup>みんなの中には「<sup>ほう</sup>みんなと<sup>あんしん</sup>わいわいする<sup>ひと</sup>方が<sup>あんしん</sup>安心する人」もいれば

「<sup>ひとり</sup>一人でいる<sup>ほう</sup>方が<sup>あんしん</sup>安心する人」もいます。

<sup>ひと</sup>人と<sup>ひと</sup>人との<sup>てきせつ</sup>適切な<sup>きより</sup>距離感<sup>かん</sup>を保ち<sup>たも</sup>ましょう。

声かけはとっても<sup>すてき</sup>素敵!

でもそっとしておいて  
ほしい人もなかにはいるよ。



## さいご 最後に

じぶん さいん じぶん たいしょほう ため  
自分に「こころのサイン」がでたら、自分なりの対処法を試すだけじゃなくて

まわ そうだん  
周りの人に相談してみるのもいいかもしれません。

しんしん けんこう まも けんり だれ まも そうだん  
「心身の健康を守る権利」は誰にでもあるので、守るために相談することは

おかしいことでも恥ずかしいことでもありません。当たり前のことなのです。

また、まわ さいん てきせつ きょり かん も  
また、周りの人に「こころのサイン」がでていたら適切な距離感を持ちながら

じぶん かんが  
自分にできることはなにか考えてみましょう。

しゃかい で ひと かが  
社会に出たらもっといろいろな人と関わります。

あいて じぶん たいせつ す よ  
相手のことも自分のことも大切にしながら過ごせると良いですね。

### まとめ

★自分の「こころのサイン」と「心の不調」への対処法

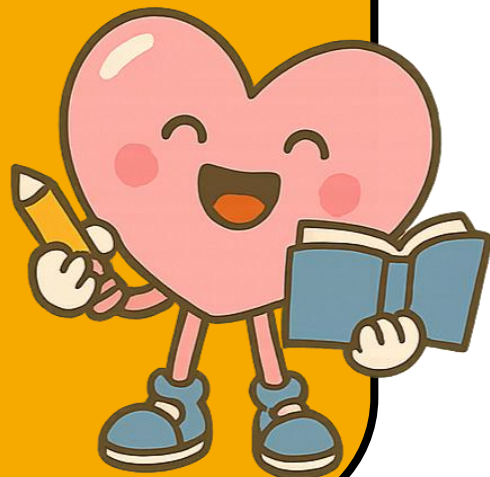
を知っておこう。

★人にはみんな「心身の健康を守る権利」

がある

★人との適切な距離について

考えてみよう



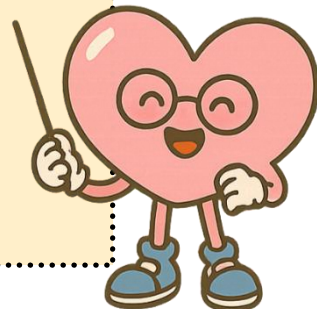
# じゅぎょう おとな ころとからだの授業③「大人になることってなんだろう」

みなさんは今、思春期という時期にあります。

思春期とは…子供から大人に変わる時期のことです。

この時期には身体と心にいろんな変化があります。

いろんな変化があるけれど  
 いつ変わるか、どう変わるかは  
 人それぞれです！



## ししゅんき からだ ころ へんか 思春期の体と心の変化について

### からだ へんか ◎ 体の変化

#### じよせい 女性

・生理がはじまる

・乳房がでてくる

・体毛が生える

・体つきが丸くなる などなど

#### だんせい 男性

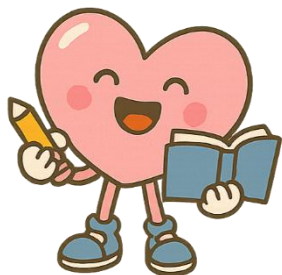
・精通が始まる

・のどぼとけがでてくる

・体毛が生える

・ひげが生える

・声が低くなる などなど



だんじょ からだ ちが で  
 男女の体つきに違いが出てくるんですね

## ◎ 心の<sup>へんか</sup>変化

せいり せいっう はじ ほるもんばらんす みだ  
生理や精通が始まるとホルモンバランスの乱れで

わけもなく涙<sup>なみだ</sup>が出たり、いつもイライラしてしまうといった心<sup>こころ</sup>の不調<sup>ふちよう</sup>があらわれます。

これは<sup>へん</sup>変な<sup>こと</sup>ではありません。心<sup>こころ</sup>の不調<sup>ふちよう</sup>が現れたら、第二回<sup>だいにかい</sup>のページ<sup>ページ</sup>を見てみましょう。

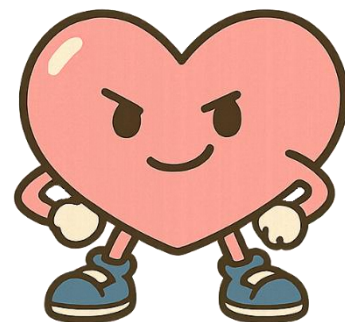
また、思春期<sup>ししゅんき</sup>の心<sup>こころ</sup>の変化<sup>へんか</sup>には「恋<sup>こい</sup>」もあります。

だれ す 誰かを好き<sup>す</sup>になって恋人<sup>こいびと</sup>になりたい、とか結婚<sup>けっこん</sup>したいと思う<sup>おも</sup>人もいれば、

ながめてる<sup>ひと</sup>だけでいい、という人もいます。

また、異性<sup>いせい</sup>を好き<sup>す</sup>になる人<sup>ひと</sup>もいれば同性<sup>どうせい</sup>を好き<sup>す</sup>になる人<sup>ひと</sup>、そもそも恋<sup>こい</sup>をしない人<sup>ひと</sup>もいます

いろんな変化<sup>へんか</sup>があるけれど  
いつ変わるか、どう変わるかは人<sup>ひと</sup>それぞれ!



せい き けんこう まも  
性器<sup>せいき</sup>の健康<sup>けんこう</sup>を守ろう

せい き でりけーと やさ あつか せいけつ じょうたい たも ひつよう  
性器<sup>せいき</sup>はデリケートなので優しく<sup>やさ</sup>扱い<sup>あつか</sup>清潔<sup>せいけつ</sup>な状態<sup>じょうたい</sup>を保つ<sup>たも</sup>必要<sup>ひつよう</sup>があります。



せい き よご きず  
性器<sup>せいき</sup>が汚れて<sup>よご</sup>いたり傷つくと

びょうき  
病気<sup>びょうき</sup>になってしまうかも…

## 性器の健康を守るために…

• トイレの時は前から後ろに拭く

• お風呂の時は爪を切って、立てた泡で優しく洗う

• 下着は毎日変える

• (女性は)ナプキンをトイレに行くたびに変える

また、思春期を迎えた性器には生理や精通などの変化があります。

そこで次のようなこともあるかもしれません。

• 好きな人のことを考えると性器がむずむずする

• 裸の写真をみるとそわそわとしてしまう

こんな時ももちろん放っておいてもかまいませんが、マスターベーションをしたくなるかもしれません。

### マスターベーションとは…

**自分の性器など体をさわることで気持ちよくなることです。**

自分のからだを気持ちよくさわることは自然なことではずかしくありません。

だれでもすることのあるふつうのことです。

でもこれはしても、しなくてもいいし、かならずしないといけないわけではありません。

あくまで方法の一つなのです。

もししたいと思うなら、次のことに気をつけなければいけません。

性器をふくむプライベートゾーンは簡単に人に見せない、というお話でしたね。

また、性器は優しく清潔に扱う必要がありました。ですから

- ・一人になれる場所ですること
- ・爪を切って、手を洗うこと
- ・性器は強い力でさわらない

ことに気をつけましょう。

## どうい し 同意を知ろう

同意とは…相手と同じ考えだということ

同意はいろんな場面で必要になります、そのなかでも「性的同意」をこのテキストでは扱います。

性的同意はだれかと“性に関わること”をするときの同意です。

性的同意のポイントは

① 性的なことをするときには、「したい」「してもいい」を

お互い自由に言える平等な立場であること

② 性的なことをすることは相手に任せず自分で決めること

③ 自分の意見を相手にしっかり伝えること

いちばん大事なのは相手にいやなことをさせない、しないということです。

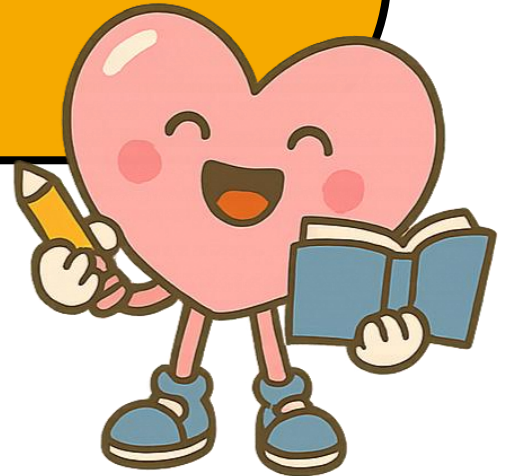
## まとめ

<sup>からだ</sup> <sup>こころ</sup> <sup>せいちょう</sup> <sup>しぜん</sup>  
★ 体も心も成長するのは自然なことで

<sup>かわ</sup> <sup>かた</sup> <sup>ひと</sup>  
その変り方は人それぞれ

<sup>せい</sup> <sup>き</sup> <sup>やさ</sup> <sup>せい</sup> <sup>あつか</sup> <sup>ひと</sup>  
★ 性器は優しく清けつに扱い、簡単に人  
<sup>み</sup>  
に見せたりしないこと

<sup>いや</sup> <sup>だいじ</sup>  
★ 嫌がることはしない・させないが大事

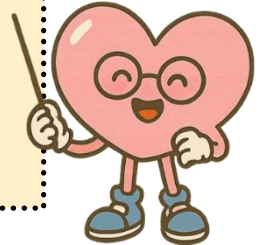


<sup>じぶん</sup> <sup>あいて</sup> <sup>こころ</sup> <sup>からだ</sup> <sup>まも</sup>  
自分と相手の心と体を守りましょう。

# じゆぎょう えすえぬえす ひと かか こころとからだの授業③「SNSや人との関わりについて」

えすえぬえす  
 SNS など、インターネットがだれでも簡単に使えるようになったことで  
 とお はな ひと こみゆにけーしょん と  
 遠く離れた人ともコミュニケーションを取れるようになりました。

えすえぬえす  
 SNS のいいところ、わるいところを理解して安全に利用しながら  
 ひと かか  
 いまいちど人との関わりについても考えてみましょう！

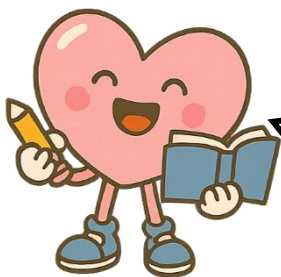


## えすえぬえす SNSって？

### えすえぬえす ◎SNSとは

インターネットを通して人々が情報を共有し、  
 コミュニケーションを取るためのアプリやサイトなどのこと

たとえば…ライン、インスタグラム、ユーチューブ、ティックトックなど



とっても

べんり  
 便利だし

たの  
 楽しいよね！

### えすえぬえす めりっと SNSのメリット(いいところ) 😊

- とも かぞく  
 友だちや家族と いつでもつながれる
- はな ひと しゃしん きも きょうゆう  
 離れている人とも 写真や気持ちを共有できる
- おな しゅみ ひと てあ  
 同じ趣味の人と出会える
- し 知らりたいことをすぐに調べられる

などなど…

でも…わるいところもあります。



えすえぬえす で め り っ と  
**SNSのデメリット(わるいところ)** (🙄)

- うその情報じょうほう ひるが広がっていることがある
  - 写真しゃしんや動画どうがを一度出すと、拡散かくさんされて消せなくなる
  - 知らない人しからメッセージめっせーじが来ることもある
  - なりすましじぶん(自分のふりをする人)や詐欺さぎなどの犯罪はんざいに使われることがある
- などなど…

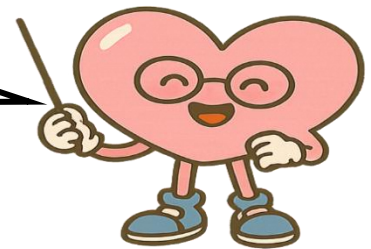
やっぱり  
ちょっと  
こわいかも？

えすえぬえす あんぜん たの つか つづ  
SNSを安全あんぜんに楽しく使い続けるために「情報じょうほうはしっかり見きわめる」ことが大切たいせつです。

じょうほう み  
「情報じょうほうはしっかり見きわめる」ためには、インターネットいんたーねっとだけではなく本ほんなど別の方法べつ ほうほうでも調べてしらみたり、

せんせい ひと き  
先生せんせいやおうちの人ひとに聞いたり、ちょっとでも「ん？」おもと思った情報じょうほうは疑ううたがうようにするといいでしょ。

せいかい  
「これが正解せいかい!しないといけない!」というわけではないけど  
やらないよりはいいかもしれませんね



**「いやなこと」に「いや」という勇気**

えすえぬえす ふく  
このようにSNSも含めて、これから社会しゃかいに出るともっとたくさんの人ひととの関わりかかが増えてふいきます。

なか ひと  
もしかしたらその中なかにあなたにいやなことをしてくる人ひともいるのかもしれない。

あいて ともだち こいびと い だれ そうだん  
その相手が友達ともだちや恋人こいびとだと「いや」と言いにくかったり、誰かだれに相談そうだんしにくかったり、

きら こわ  
嫌きらわれてしまうかもしれないと怖こわくなってしまうかもしれませんね。

でも <sup>かんが</sup> 考えてみてください。

かけがえのない <sup>じぶん</sup> 自分 <sup>からだ</sup> の体 <sup>こころ</sup> や心 <sup>なか</sup> に対して、どんなに <sup>ともだち</sup> 仲いい友達 <sup>ともだち</sup> でもいやなことしていいわけがありません。

<sup>ゆうき</sup> 勇気がいることだけど、

**「あなたは決して悪くない」** ので <sup>きょひ</sup> きよひしたり <sup>そうだん</sup> 相談 <sup>せ</sup> することをだれも責めたりしないのです。



<sup>ともだち</sup> 友達 <sup>こいびと</sup> や恋人 <sup>だ</sup> としても

いやなことをされたときは <sup>い</sup> いや <sup>ゆうき</sup> と言う <sup>ゆうき</sup> 勇気 <sup>をも</sup> って

かけがえのない <sup>じぶん</sup> 自分 <sup>からだ</sup> の体 <sup>まも</sup> を守り <sup>ま</sup> しょう

ちなみにこのように <sup>こいびと</sup> 恋人 <sup>だ</sup> だから <sup>りゆう</sup> という理由 <sup>りよく</sup> で <sup>しはい</sup> ぼう力 <sup>てーとていぶい</sup> や支配 <sup>を</sup> することを <sup>てーとていぶい</sup> デートDV <sup>と</sup> 言います。

もしも <sup>とき</sup> された <sup>えんりよ</sup> 時は <sup>まわ</sup> 遠慮 <sup>ひと</sup> なく <sup>ひと</sup> 周り <sup>そうだん</sup> の人 <sup>ひとり</sup> に <sup>かか</sup> 相談 <sup>こ</sup> しましょう。 <sup>こ</sup> 一人で <sup>かか</sup> 抱え <sup>こ</sup> 込まないでね。

## まとめ

<sup>えすえぬえす</sup> SNS <sup>つか</sup> を使う <sup>ときは</sup> ときは <sup>きけん</sup> きけん <sup>がある</sup> がある <sup>ことを</sup> ことを

<sup>り</sup> 理 <sup>か</sup> かい <sup>して</sup> して <sup>あんぜん</sup> 安全 <sup>たの</sup> に <sup>楽しむ</sup> 楽しむ

<sup>こいびと</sup> 恋人 <sup>ともだち</sup> や友達 <sup>でも</sup> でも <sup>いやな</sup> いやな <sup>ことを</sup> ことを <sup>されたら</sup> されたら

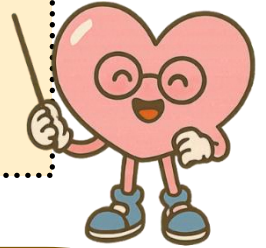
<sup>きよひ</sup> きよひ <sup>しても</sup> しても <sup>いい</sup> いい

# こころとからだの授業⑤「みんなちがってみんないい」

さいきん がいこく ひと にほん りょこう き す おお  
最近、外国の人が日本に旅行に來たり、住んだりすることが多くなっています。

ぜんかい えすえぬえす いんたーねっと みちか かちかん  
また前回やったようにSNSやインターネットが身近になったことで「いろんな価値観」を

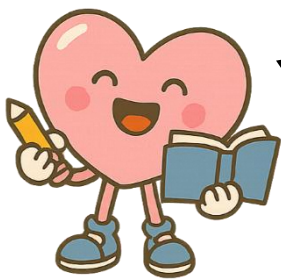
ひと し じぶん あいて  
いろんな人がいることを知って、自分も相手も  
たいせつ かんけい かんが  
大切にできる関係を考えよう。



た ようせい  
**多様性**って？

## ◎ 多様性とは

しゃかい さまざま ちが ぎょうぞん  
社会に様々な違いが共存していること。



これは  
み  
見てわかる  
ちが  
違いだね

しゃかい ちが たと  
社会にはいろいろな違いがあるよ例えば

からだ せいべつ ちが  
・ 体の性別の違い

からだ ちが  
・ 体つきの違い

ねんれい ちが  
・ 年齢の違い

じんしゅ こくせき ちが  
・ 人種(国籍)の違い

などなど…

ほか せいべつ れんあいいたいしょう ちが そと み ちが  
他にもこのころの性別や恋愛対象の違い(外から見てわからない違い)もあるよ

えるじーびーていーきゅーぷらす  
★LGBTQ+

い せいあいしゃ だんせい す き じよせい じよせい す き だんせい い がい  
異性愛者(男性のことを好きな女性、女性のことを好きな男性)以外の  
れんあいいたいしょう も つひと こころ せいべつ からだ ちがう こころ たようせい  
恋愛対象を持つ人たちや、心の性別が体とは違うなど心の多様性の  
ことです。それぞれの頭文字を取ってLGBTQ+と言います。

える れずびあん じよせい す じよせい L…レズビアン(女性が好きな女性)
じー げい だんせい す だんせい G…ゲイ(男性が好きな男性)
びー ばいせくしゅある だんせい じよせい す ひと B…バイセクシュアル(男性も女性も好きな人)
ていー とらんすじェんだー T…トランスジェンダー
からだ せいべつ じよせい こころ せいべつ だんせい からだ せいべつ だんせい (体の性別は女性だけど心の性別は男性 / 体の性別は男性だけ こころ せいべつ じよせい からだ こころ せいべつ ちがうひと ど心の性別は女性、というように体と心の性別が違う人)
きゅー くいあ こころ せいべつ じよせい だんせい Q…クィア(心の性別が女性でも男性でもない)

+ (ぷらす)にはアロマンティック(恋愛感情を持たない人)や

あせくしゅある れんあい せいてき ひと  
アセクシュアル(恋愛はするけど性的なことはしたくないという人)も

ふく  
含まれます。

しゅうきょう ちが ぶんか ちが とくい ふとくい ちが  
あとは宗教の違いや文化の違い、得意不得意の違いなどもあります。

いま しゃかい ちが  
今の社会には「違い」がたくさんあるんですね。

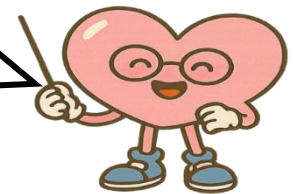
ほか ひと ちが  
他の人と違うというのはもしかしたら孤独を感じたり、怖くなったりするかもしれません。

でも、覚えておいてもらいたいのは、

ちが ひと  
「違い」は「その人らしさ」なのです。

じぶん だ ゆうき い  
自分らしさを出すって勇気が要るときもあります

むり だ がまん だいじ  
無理に出すんじゃなく我慢はしないことが大事なんですね



みんなちがってみんないい

むかし しゃかい おとこ な りょうり じょしりよくたか  
昔から社会には「男なんだから泣くな」や「料理できるなんて女子力高いね」という

せいべつ  
「性別らしさ」がありました。これをジェンダーと言います。

そのジェンダーはときに無意識の差別を生んできました。

この考えをむりやり押し付けるのはよくありませんよね。

ちが  
「違い」はたくさんあります。

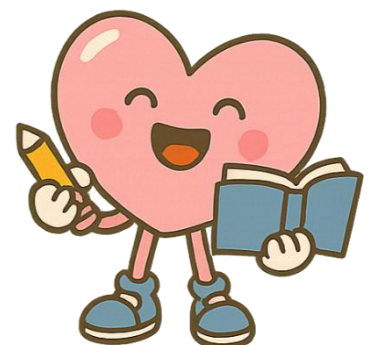
もしかしたら、自分の嫌いなものを好きな人もいるかもしれません。

むり ひと あ ひつよう  
無理にその人に合わせる必要はありませんが

ひと みと あ  
「そういう人もいるよね」と認め合えれば

やさ せかい  
もっと優しい世界になるかもしれませんね。

これが「みんなちがってみんないい」の言葉の意味なのです



## まとめ

- ・「<sup>ちが</sup>違い」はその人「<sup>ひと</sup>らしさ」
- ・「<sup>じぶん</sup>自分らしさ」を好きでいることも、
- ・「<sup>じ</sup>自まん」することも<sup>わる</sup>悪いことじゃない
- ・「<sup>ちが</sup>違い」やその人「<sup>ひと</sup>らしさ」を<sup>みと</sup>認め<sup>あ</sup>合う、  
<sup>ちが</sup>みんな違ってみんないい

これで<sup>じゆぎょう</sup>ころと<sup>ぜんごかい</sup>からだの授業はおしまい!全五回、お疲れさまでした。

<sup>なや</sup>なにかに<sup>おも</sup>悩んだときは<sup>だ</sup>思い出し<sup>よ</sup>て<sup>かえ</sup>読み返してみてくださいね。



あなたらしさ、あなた<sup>じしん</sup>自身を<sup>たいせつ</sup>を大切に  
これからも<sup>がんば</sup>頑張ってくださいね。